

ゲートスタイルキッチン S-1

<リニューアル>

取付説明書

このたびは、オリジナルシステムキッチンをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

このキッチンは一般家庭用のキッチンです。
業務用には使用しないでください。

・取付説明書必読のお願い

施工者の安全と使用者の安全確保のため、この取付説明書をよくお読みになり、安全で正しい取り付けを行ってください。

組み込み機器および水栓金具については、それぞれの取付説明書に従って正しい施工を行ってください。

・取り付け完了後、点検のお願い

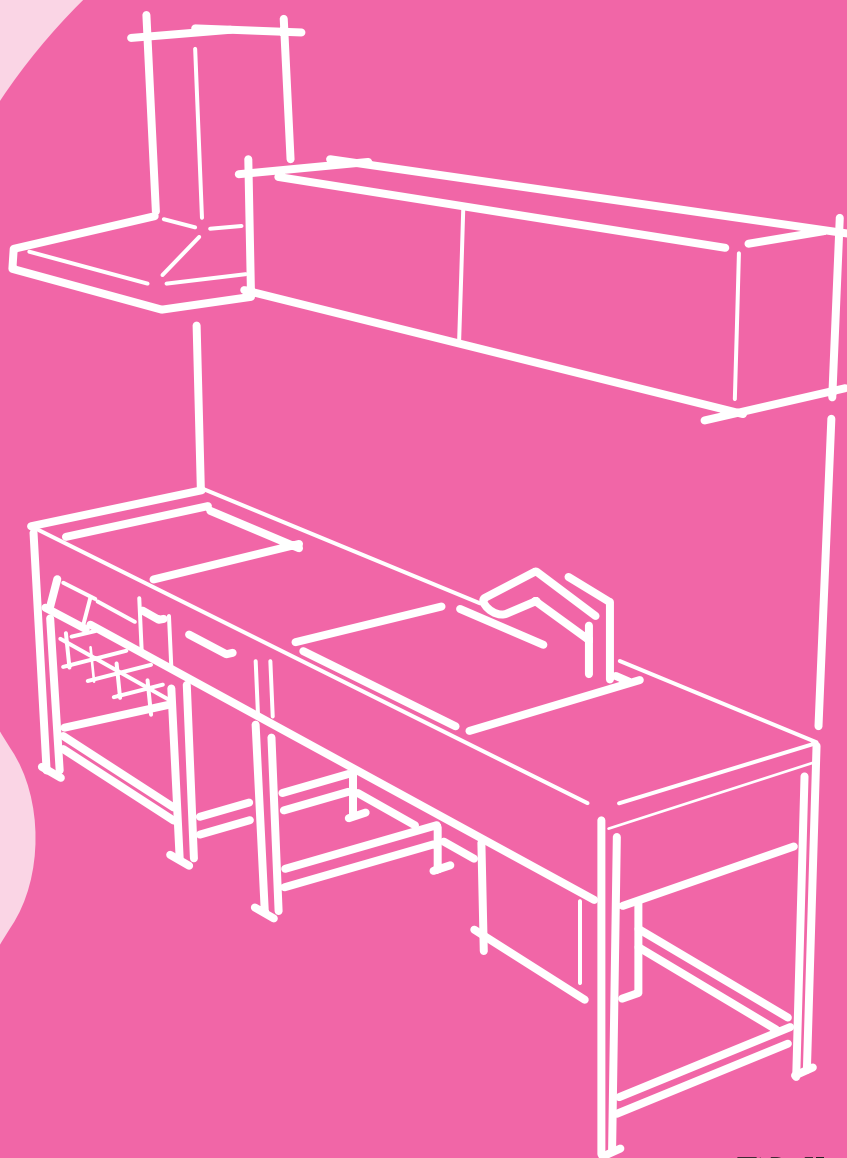
取り付け完了後（点検表に従って）試運転及び各部の点検を行い、異常のないことを確認してください。

※取付説明書どおりの取り付けがなされていない場合の事故等については責任を負いかねますのでご了承ください。

もくじ

■ 1. 安全上のご注意	2
■ 2. 取り付け前の確認	3
■ 3. 取付手順	4
■ 4. ゲートスタイルキッチンの種類と各部の名称	5～7
■ 5. 部品表	8
■ 6. 基本納まり図	9～10
■ 7. キッチンパネルの取り付け	10
■ 8. フラップアップ式ウォールキャビネット（オプション）の取り付け	11～13
■ 9. レンジフードの取り付け	13
■ 10. I型壁付けプランの取り付け	14～19
■ 11. 対面プランの取り付け	20～23
■ 12. L型プランの取り付け	24～26
■ 13. II型プランの取り付け	27～29
■ 14. オープンプランの取り付け	30～32
■ 15. 食洗スペース部分パネル・配管カバーの取り付け	33～34
■ 16. コンパクトキッチン（ビルトインタイプ）の取り付け	35～36
■ 17. コンパクトキッチン（セクショナルタイプ）の取り付け	37～38
■ 18. 排水部材の取り付け	39
■ 19. 組み込み機器の取り付け	39
■ 20. シンク下配管カバー（オプション）の設置	40
■ 21. 食洗機下配管カバー（オプション）の設置	40
■ 22. 食洗機横配管カバー（オプション）の設置	40
■ 23. 引き出しの調整	41
■ 24. オイルガードパネルの取り付け	42
■ 25. サイドハンガー（オプション）の取り付け	43
■ 26. ワゴン（オプション）の組み立て	44
■ 27. カップボード（カウンター収納タイプ）の取り付け	45～46
■ 28. アイランドカウンターの取り付け	47～48
■ 29. 清掃と養生	49
■ 30. 各部の点検	49～50

kitchen



1 安全上のご注意

取り付けの前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ、正しく取り付けしてください。

●表示内容を無視して誤った取付・設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明します。



警告

この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。



注意

この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

●お守りいただく内容の種類を次の図記号で区分し説明しています。



この図記号は、製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止するものです。



この図記号は、製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するものです。

●取り付け完了後、点検表に従って試運転および各部の点検を行い、異常のないことを確認してください。

●本体に同梱されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れのないように保管し、取り付け完了後お客様にお渡しください。

警告

ウォールキャビネットの取り付けは壁の構造を確かめて、説明書どおり正しく行ってください。



取り付けを誤ると落下して重大な事故が発生する恐れがあります。

大工工事(取付下地)

キッチン取付・設置

電気工事・ガス工事・水道工事は、関連する法令・規定に従って、必ず『有資格者』が行ってください。



接続や固定が不完全な場合は、火災、感電、ガス漏れ、水漏れの原因になることがあります。

レンジフード本体と排気ダクトは、可燃物との距離を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆う必要があります。詳しくは、所轄の消防署へご確認ください。



火災の原因になることがあります。

組み込み機器類

組み込まれる機器、水栓金具等についてはそれぞれの説明書および製品本体の表示事項を守り、正しく取り付けしてください。



取り付けを誤ると、思わぬ事故や故障の原因となります。

管工事

キッチン取付・設置

電気工事

組み込み機器類

ステンレスの取扱いは必ず手袋をして、取付手順に従い正しく行ってください。



素手で扱うとケガをする恐れがあります。

キッチン取付・設置

注意

溶剤・洗剤・接着剤その他薬品類は、それぞれの注意表示に従って正しくお使いください。



誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因となります。

洗剤類

取り付け完了後は、扉の傾き、ガタつき、蝶番の緩みがないことを必ず確認してください。



扉の取り付けに異常があると使用中に落下してケガをする恐れがあります。

包丁差しは、ビスの緩みや浮きがないように説明書どおり正しく取り付けてください。



取り付けを誤ると外れてケガをする恐れがあります。

排水ホースは U 字型に曲げたり折り曲げて取り付けないでください。



詰まって排水の流れが悪くなり、水漏れの原因となります。

管工事

排水管との接続は、必ず防臭キャップをしてください。



不快な臭いの発生原因となります。

管工事

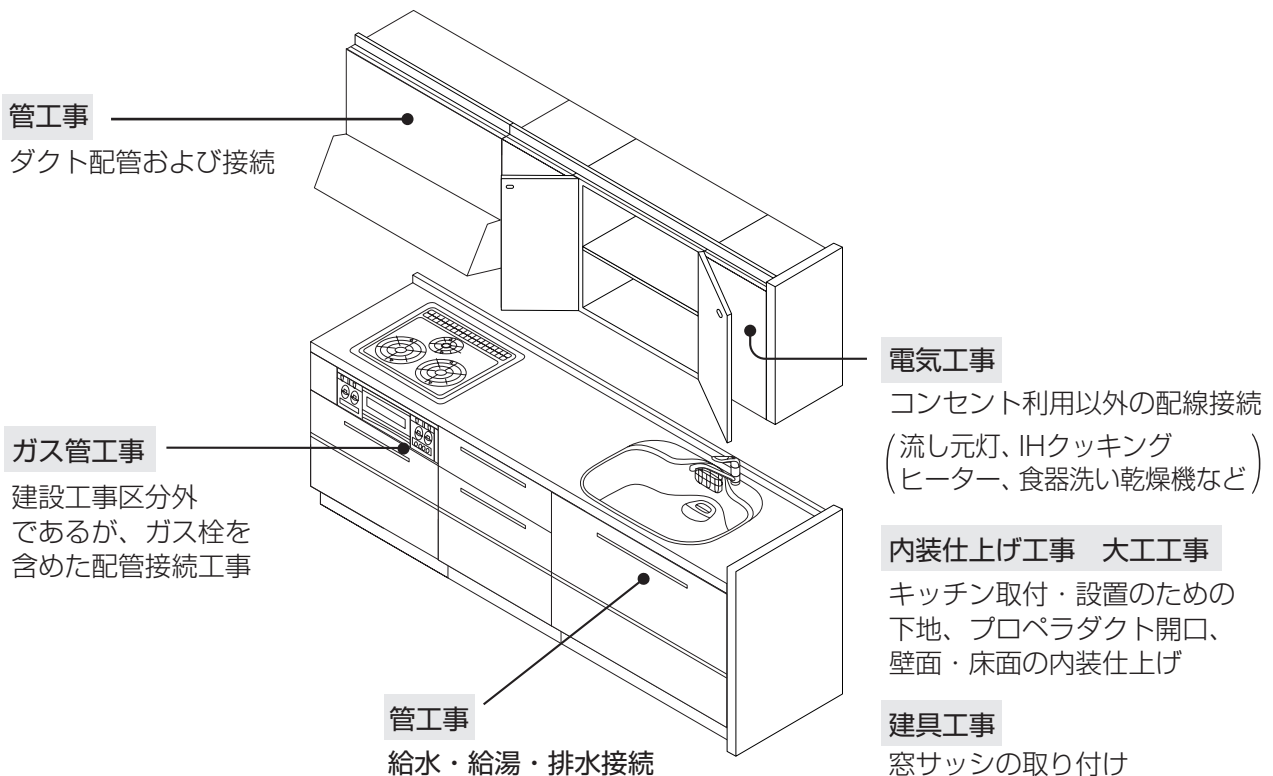
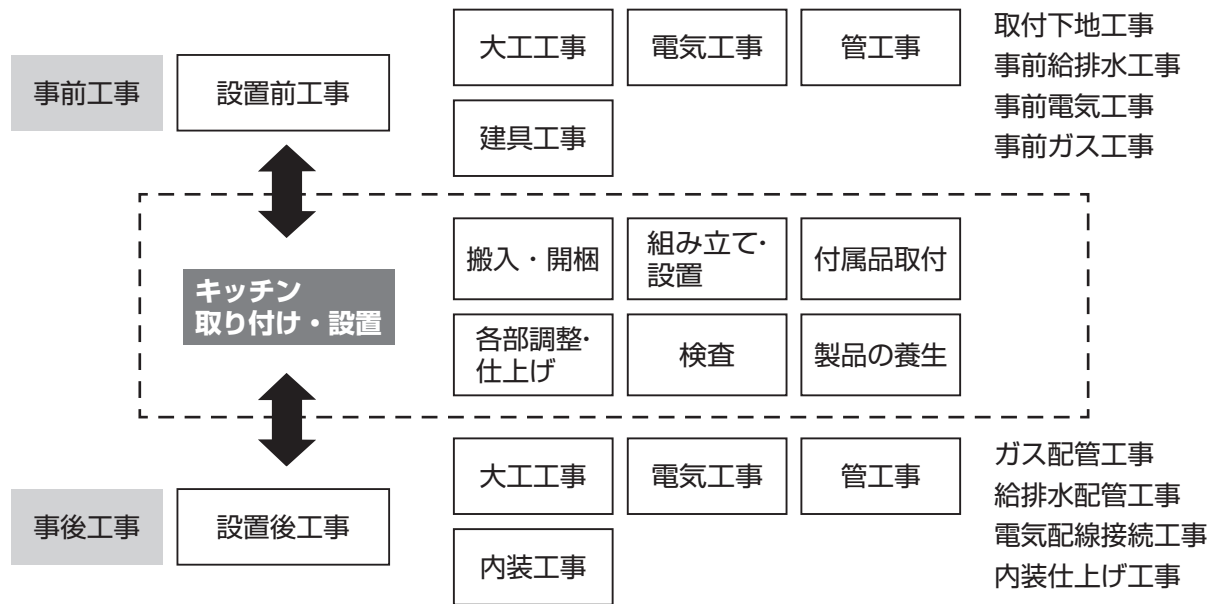
2 取り付け前の確認

■「キッチンの取り付け・設置」とユニット工事区分

⚠ 警告



本説明書は、システムキッチンの本体組み立て・設置と関連工事（建設工事）である大工工事、電気工事、ガス配管工事、配管（給排水）工事、建具工事などを区別して説明しています。
 建設工事は、関連する法令、規定に従って法的有資格者による工事が必要になります。
 流通業者（販売店）を通して「本体の組み立て・設置」を行う場合は、建設工事部分と「システムキッチンの本体組み立て・設置」を区別して行ってください。
 工事区分（責任施工範囲）、工事スケジュール等を作成せず工事をすると現場でのトラブルが発生します。



キッチンの取り付けにあたっては、必ず建築基準法や消防法などの法律に従って正しく進めてください。また、地域の条令等も必ず遵守してください。

① 入荷チェック

届いた製品について、破損がないか、品番・個数を確認してください。もし、間違いがあった場合は、至急納入元にご連絡ください。

② 開梱

各部材を開梱します。同梱の部品・部材や説明書・保証書等はないように、わかる場所に置いてください。各部材は、傷つかないように保護し、作業がしやすいように保管しておいてください。開梱時において、万一梱包や製品に、キズ等がある場合は、施工前に、ご購入先まで連絡をお願いいたします。施工後のお申し出に対しては、当社としては、責任を負いかねますのでご了承をお願いいたします。

③ 現場のチェック

図面どおり現場ができていないか、必ず確認してください。
※ 図面と大幅に違っていて、現場での対応が困難なときは、販売業者にご連絡のうえ、指示を仰いでください。

- ① 壁、床、天井の仕上げおよび寸法、直角、水平、垂直の状態
- ② 窓の仕上がり寸法（壁の仕上げ面より追ってください）
- ③ 出窓枠、ドア枠位置、窓の高さ
- ④ キャビネットの取り付け下地材の位置
- ⑤ ガス管位置
- ⑥ 排水位置
- ⑦ 電気配線位置
- ⑧ 給水・給湯位置
- ⑨ レンジフード排気口位置

3 取付手順

取り付ける部材の基本的な流れを確認してください。

取り付ける機器類については、必ず同梱の取付説明書あるいは据え付け説明書、安全上の注意事項をよく読み正しく取り付けてください。

取付・設置の前後に行われる関連工事（建設工事）である、大工工事、電気工事、管工事、建具工事、内装工事は、有資格者が行うことになっております。関連する法令、規定に従ってください。

キッチン

取付手順 次のような手順で取り付けをお願いします。

取付手順
↓
製品の確認

- 同梱部材の確認
- ワークトップ・シンクの左右仕様確認
- 扉開閉の左右勝手確認

↓
現場の確認

- 配管・配線・排水管と排水口の位置、排気口の位置確認
- 窓枠、ドア枠など開口枠の位置確認
- 下地材の取り付け位置・責任施工範囲の再確認

↓
現場床面、壁面の水平／垂直／直角度の確認および修正

↓
① 支輪用栈木の取り付け

↓
② ウォールキャビネットの取り付け

↓
③ レンジフードの取り付け

↓
④ ベースフレーム部の取り付け

↓
⑤ 排水部材のワークトップへの取り付け

↓
⑥ ワークトップの取り付け

⑦ 支輪の取り付け

↓
⑧ 組み込み機器の取り付け

↓
⑨ 扉の調整

↓
⑩ ロック機構の調整

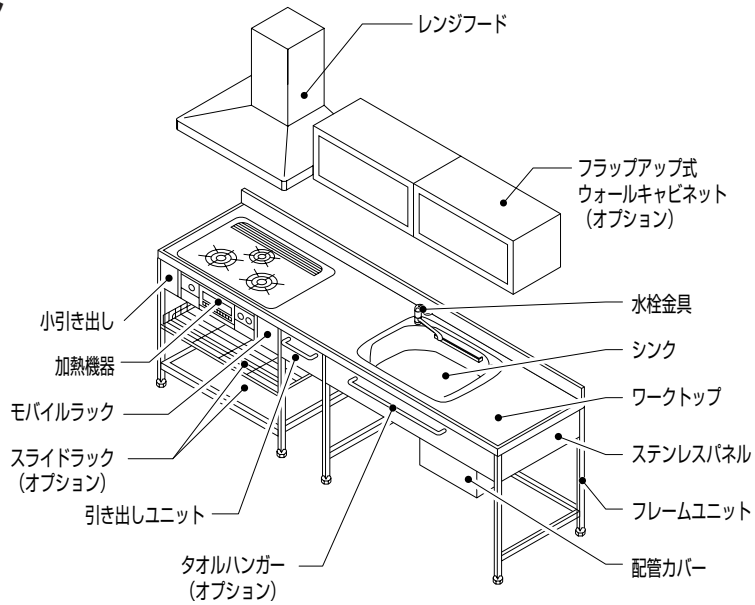
↓
⑪ 各部の点検

↓
⑫ 清掃と養生

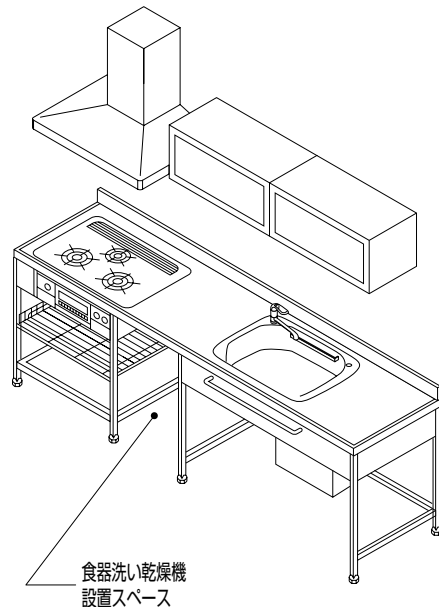
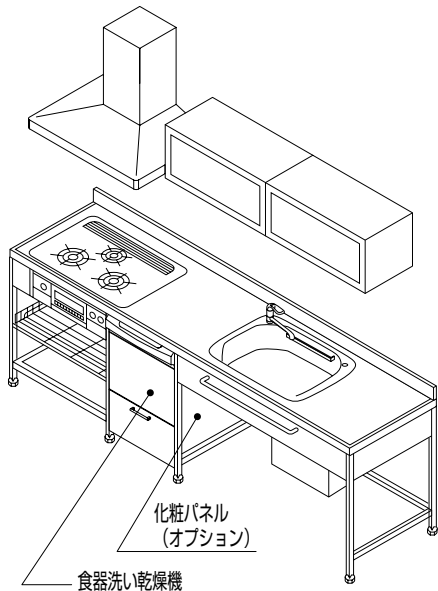
4 ゲートスタイルキッチンの種類と各部の名称

I型壁付けプラン

(標準プラン)

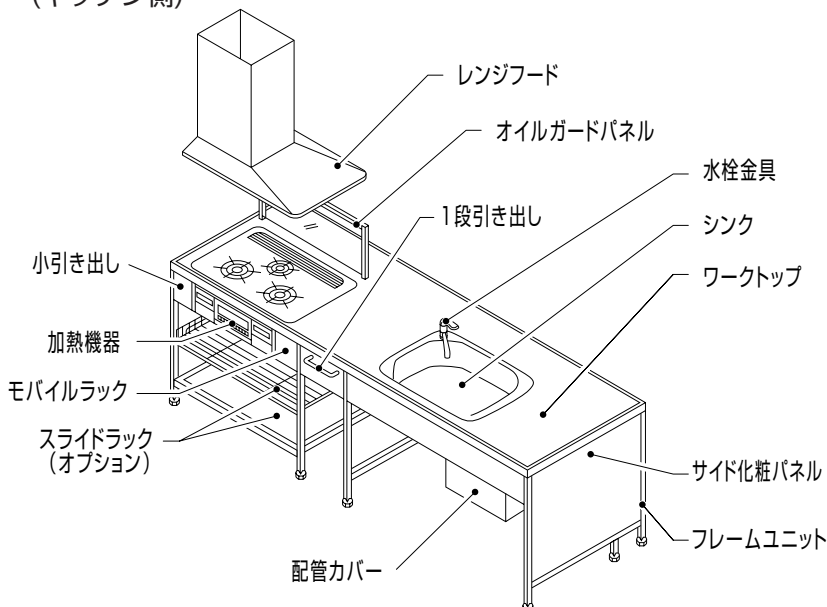


(食器洗い乾燥機プラン)

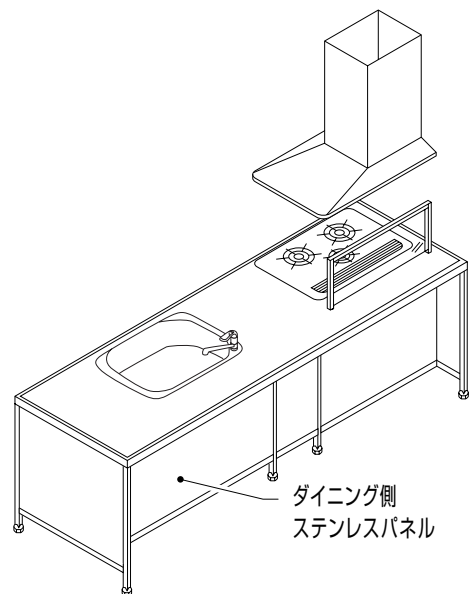


ペニンシュラ型・アイランド型

(キッチン側)

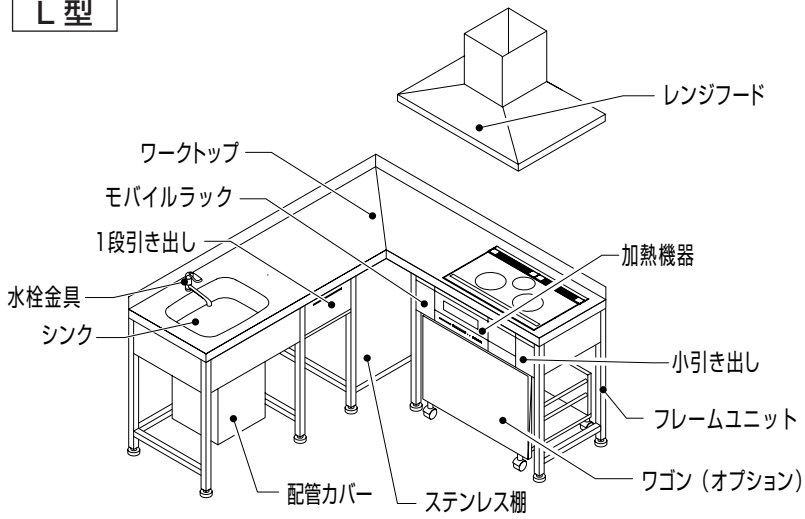


(ダイニング側)



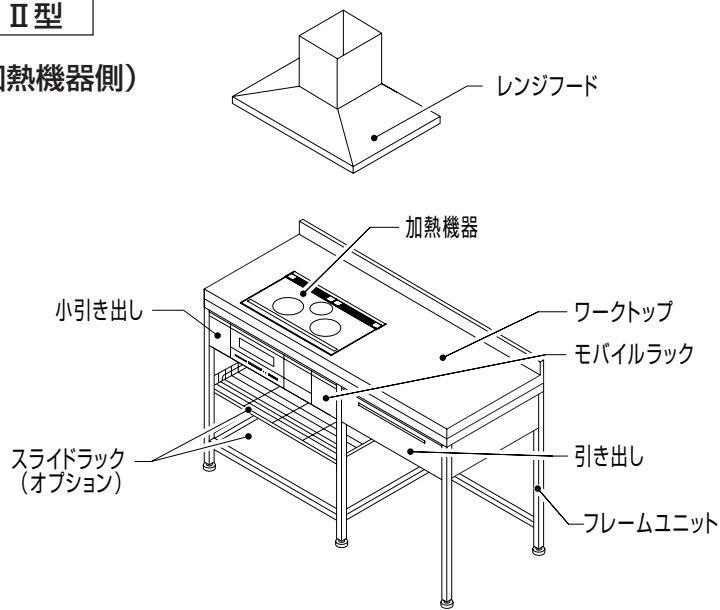
キッチン

L 型



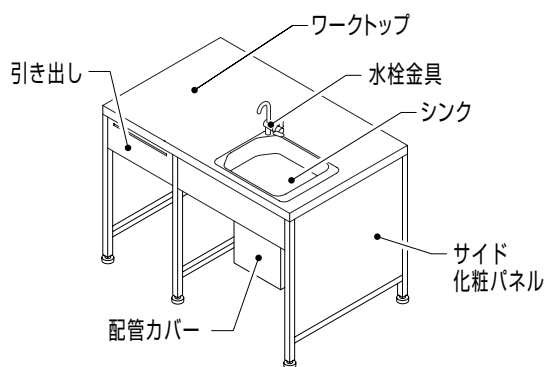
II 型

(加熱機器側)

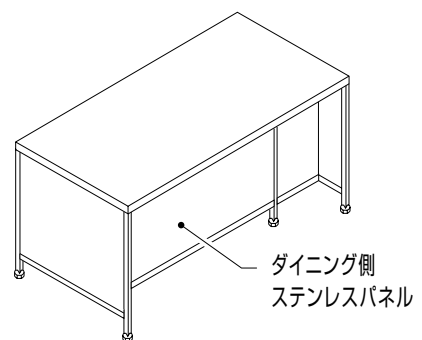


(シンク側)

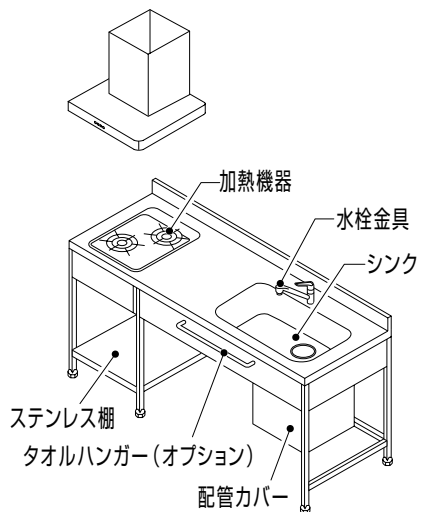
<キッチン側>



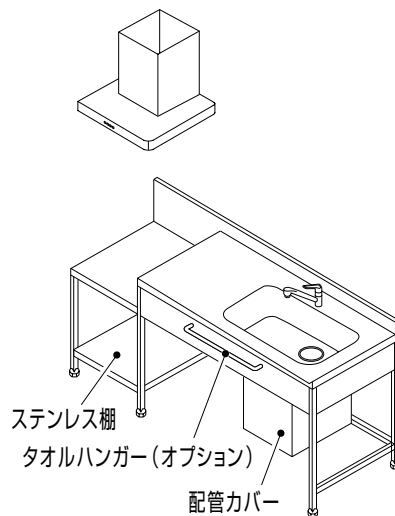
<ダイニング側>



●コンパクトゲート
(ビルトインタイプ)

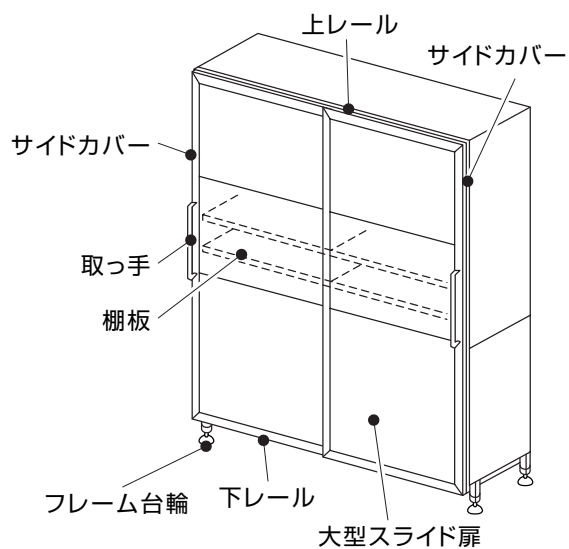


(セクショナルタイプ)

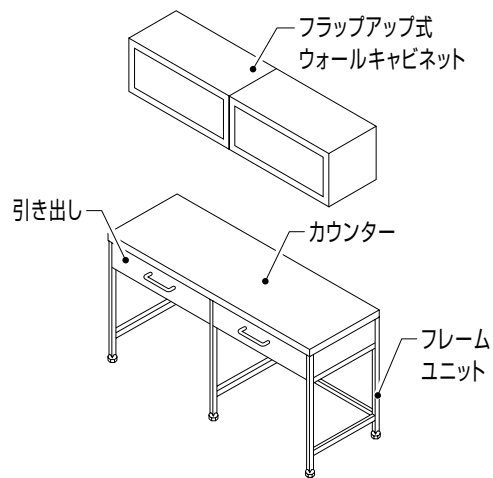


カップボード

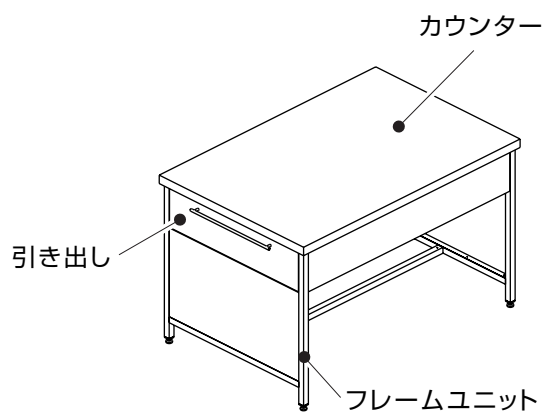
<大型スライドタイプ>



<カウンター収納>



<アイランドカウンター>



5 部品表

種類・サイズ	姿 図	用 途	部品箱 A (コンパクトキッチン用) GXSP-KITA	部品箱 B (壁付キッチン用) GXSP-KITB	部品箱 C (対面用) GXSP-KITC	部品箱 F (L型用) GXSP-KITF
床固定金具		床固定用	0	0	4	0
L 金 具		ワークトップ固定用 壁面固定用	2	9	9	18
モバイル受け金具		モバイルラック固定用	0	2	2	2
六角キャップボルト φ 5 × 12		フレーム固定用 引出し受アングル固定用	20	24	30	38
トラスタッピング φ 4 × 12		ワークトップ固定用 床固定用	12	23	35	42
トラスタッピング φ 4 × 50		壁面固定用	4	4	0	12
ピラス PAN φ 4 × 10		前幕板固定用 背面用フェイスパネル固定用 棚板固定用	26	38	64	70
ナベ小ねじ φ 4 × 10		アウターレール固定用	0	14	18	20
トラス小ねじ φ 4 × 10		引出しユニット固定用	0	17	17	17
皿タッピングビス φ 4 × 20		サイド化粧パネル固定用	0	14	30	14
ピラス皿ビス φ 4 × 10		化粧パネル固定用	0	23	23	23
皿小ねじ φ 4 × 10		化粧パネル固定用	0	14	14	14
ローゼットワッシャー M4用		化粧パネル固定用	0	20	20	20
六角レンチ M5 用		六角キャップボルト 回転用	1	1	1	1
スパナ 14 平		アジャスター調整用	1	1	1	1

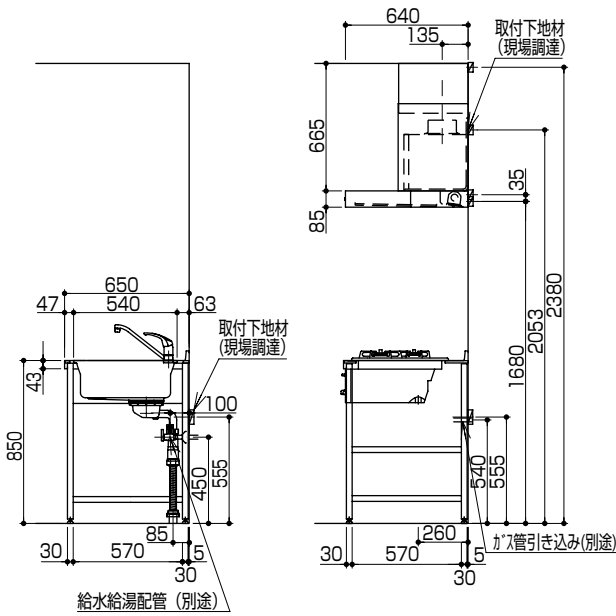
6

基本納まり図

■ 取り付け位置と取り付け桟位置

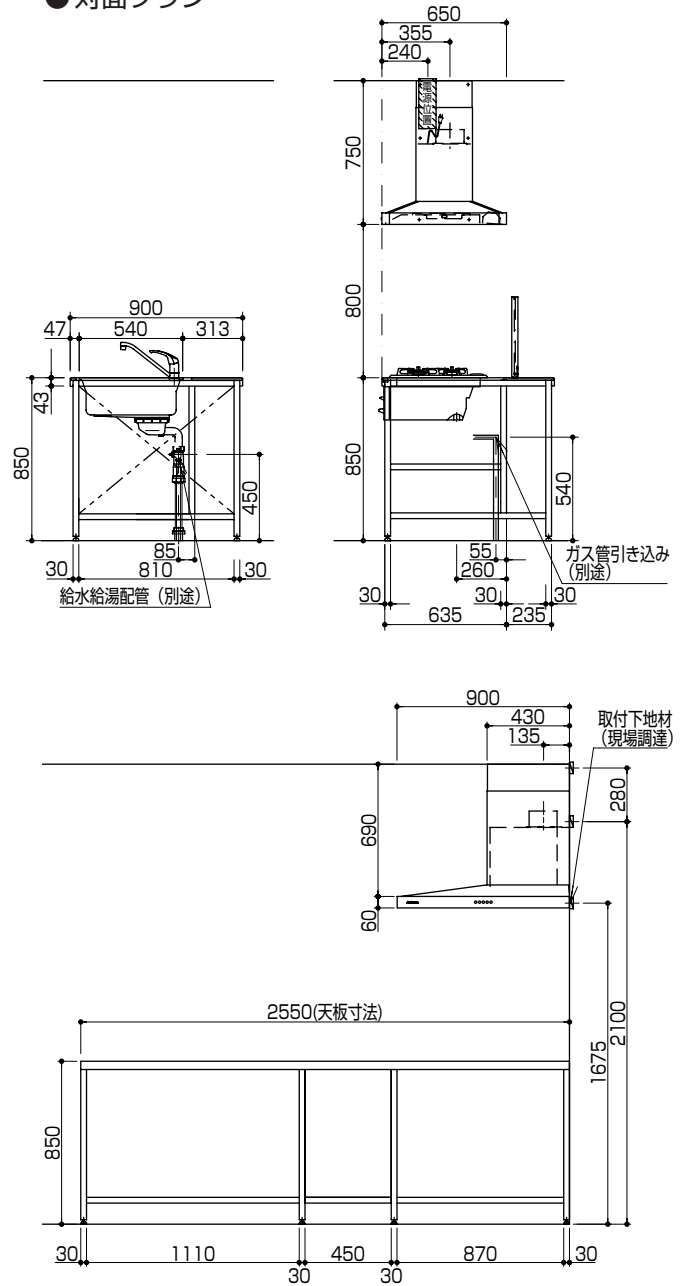
下記の標準高さを参考にしてください。

● I型壁付けプラン



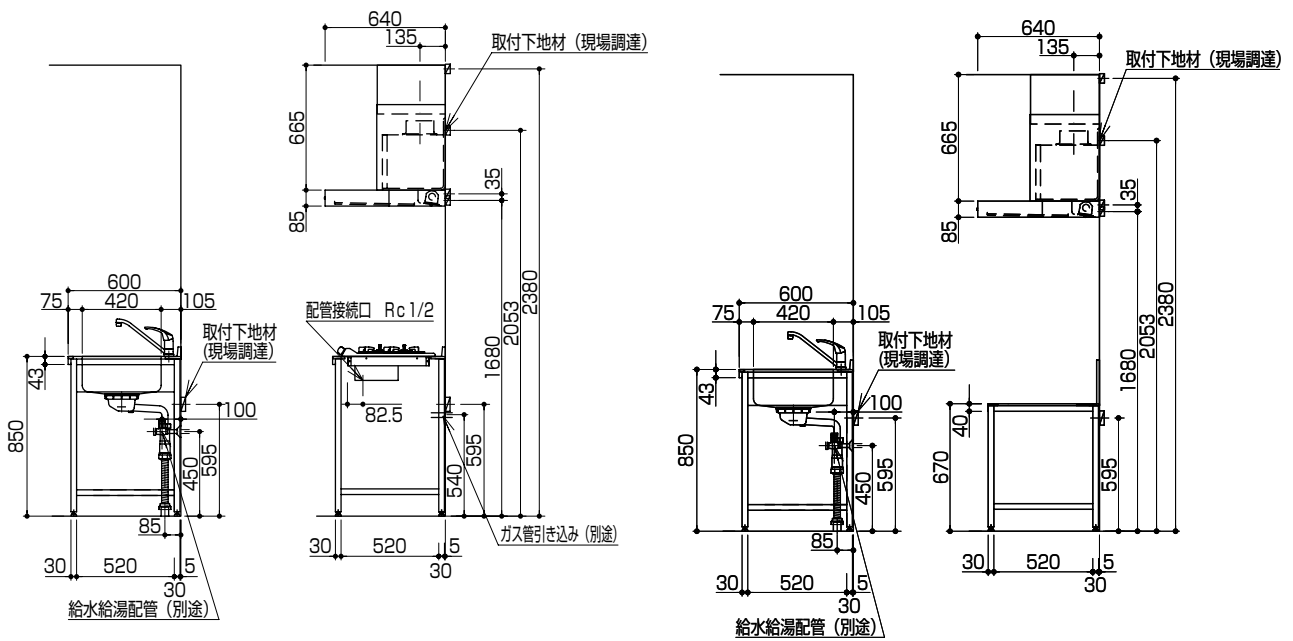
※本図はシンク左の場合の側面を示します。

● 対面プラン



●コンパクトキッチン（ビルトインタイプ）

●コンパクトキッチン（セクショナルタイプ）



警告



ウォールキャビネットの取り付けは壁の構造を確かめて、取付説明書どおりに正しく行ってください。
取り付けを誤ると落下して重大な事故が発生する恐れがあります。

注意



取り付け下地材は本体重量と収納重量の荷重に充分耐えられる強度が条件です。
堅木で、虫食いや腐れのない木材（40 × 60mm 以上）を使用してください。
キャビネットの落下の恐れがあります。

7 キッチンパネルの取り付け

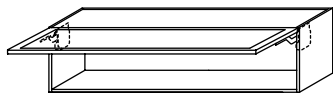
キッチンパネルの取り付けは、キッチンパネルに同梱の取付説明書を読み、確実に行ってください。

8

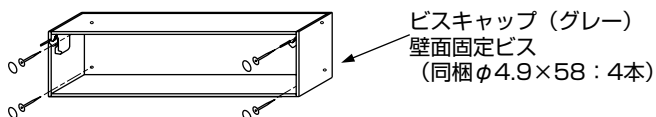
フラップアップ式ウォールキャビネット (オプション) の取り付け

1) キャビネットの取り付け

■扉を取り外します。(12 ページ参照)

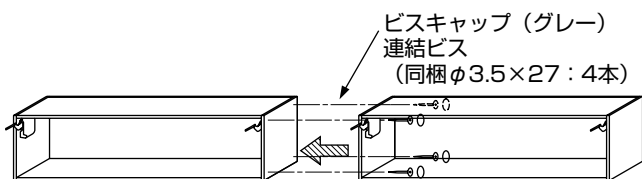


■壁面に凹凸がないことを確認し、キャビネットを壁面に同梱のビスで固定します。(キャビネットは水平に取り付けてください。)

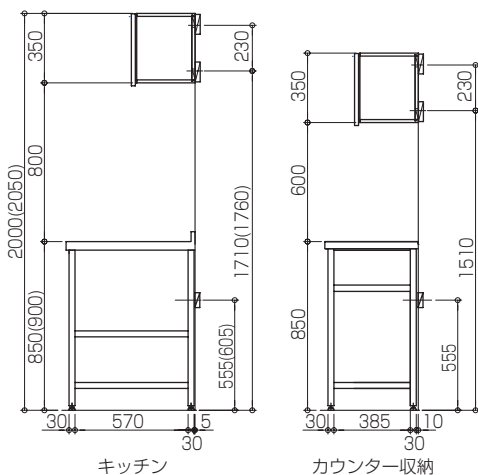
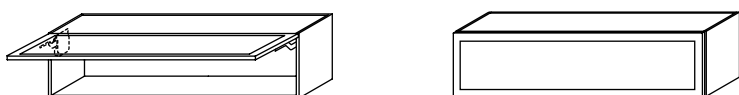


■複数のフラップアップ式ウォールキャビネットをお使いになる場合、連結する面に下穴をあけてから、ビスでキャビネットを連結します。

■上と同様に、キャビネットを壁面に固定していきます。



■扉をキャビネットに取り付けます。(12 ページ参照)



ウォールキャビネット取り付け下地位置

■壁固定位置は、右図を参考にしてください。

■壁固定ビスは、φ4.9×58 (ビスキャップ同梱) を同梱しています。

■寸法線位置に壁固定用穴 (φ5) があります。ドリルで下穴をあけてから固定してください。

警告



キャビネットの取り付けは、壁の構造を確かめて、本説明書どおりに正しく行ってください。取り付けを誤ると落下して重大な事故が発生する恐れがあります。

大工工事 (取付下地)

キッチン取付・設置

注意

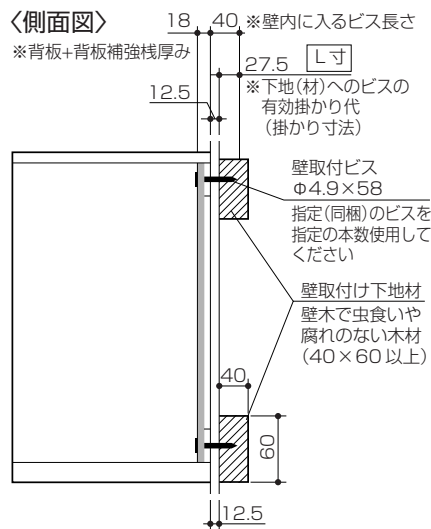


取り付け下地材は堅木で、虫食いやくされのない木材 (40 × 60 以上) を使用してください。キャビネット落下の恐れがあります。

注意



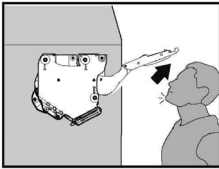
固定には必ず指定のビスを使用してください。ウォールキャビネットが落下してケガをする恐れがあります。



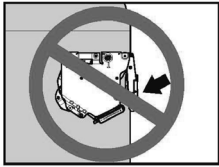
下地 (材) とビスの有効掛かり代 (掛かり寸法) L を確保する。

フラップアップ式ウォールキャビネットの調整方法

⚠️ 注意



アームが跳ね上がってケガをする可能性があります。扉を付けていない場合には絶対にアームを押し下げないでください。



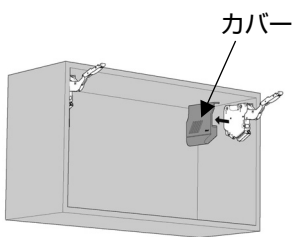
アームが上がった状態では絶対に下に押さないでください。

扉の落下に注意する。

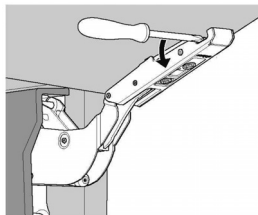
作業中絶対に扉を落下させないようにしてください。
作業終了後、必ず扉を5回以上開閉し、がたつきやビスの緩みがないことを確認してください。



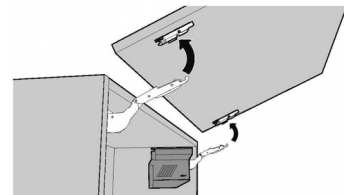
扉の取り外し方法



カバーを外します。



ドライバーをアーム先端に差し込み、扉の座金から外す。



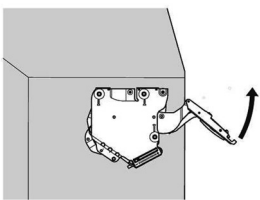
扉を外します。

⚠️ 注意

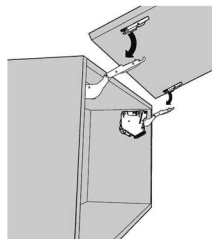
ドライバーで扉に傷がつかないようにしてください。



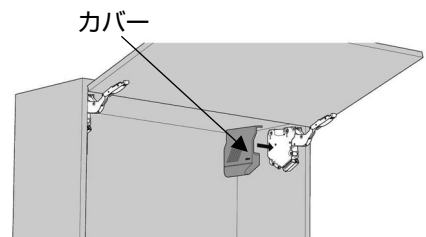
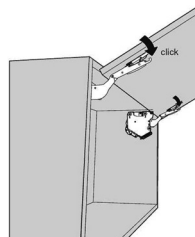
扉の取り付け方法



レバーを注意してゆっくり持ち上げる。



扉裏の座金にクリップオン。
カチャという音を確認してください。

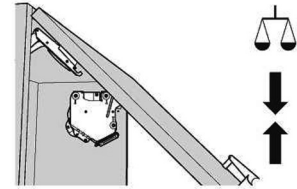
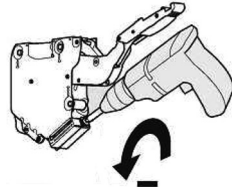
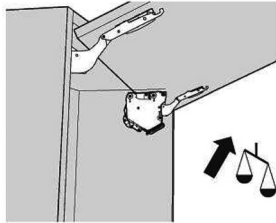


矢印の方向へ押ししてください。

バネの調整

扉を開けて扉が自然と上がったり、下がったりする場合には電動ドライバーでバネの力を調整してください。

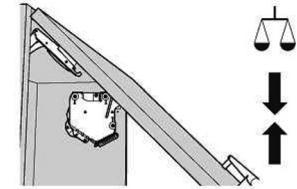
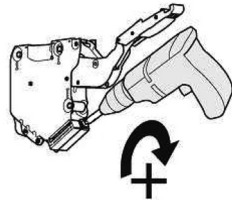
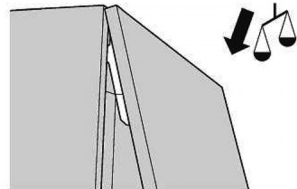
●バネ力の調整：扉が上がる時



電動ドライバーで左へ回してください。

扉のバランスが取れるようにしてください。

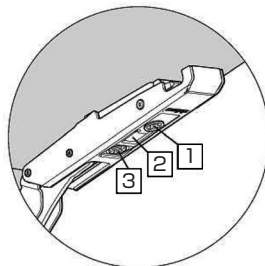
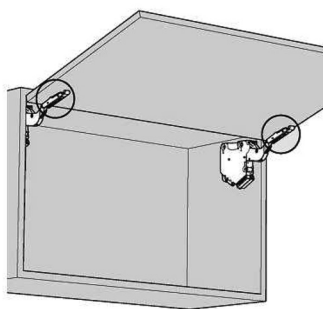
●バネ力の調整：扉が下がる時



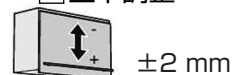
電動ドライバーで右へ回してください。

扉のバランスが取れるようにしてください。

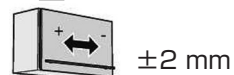
扉の調整



① 上下調整



② 左右調整



③ 前後調整



プラスドライバーで上下・左右・前後の調整ができます。

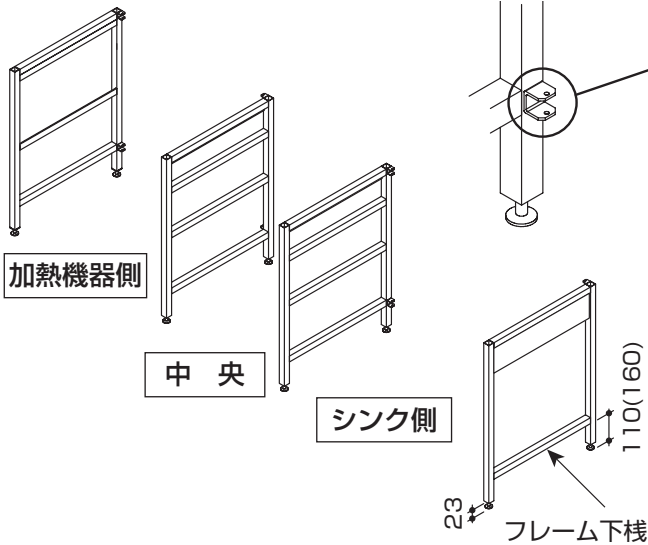
9 レンジフードの取り付け

- レンジフードの取り付けは、レンジフードに同梱の取り付け説明書を読み、確実に行ってください。レンジフード本体と排気ダクトは、可燃物との距離を 10cm 以上離すか不燃材料を使用して可燃物を覆う必要があります。詳しくは所轄の消防署へ確認ください。

10 I型壁付けプランの取り付け

1) ベースフレームの組み立て

■縦フレーム（加熱機器側／中央／シンク側）を確認します。



お願い

コ型の金具の数、位置、レールの有無をチェックしてください。

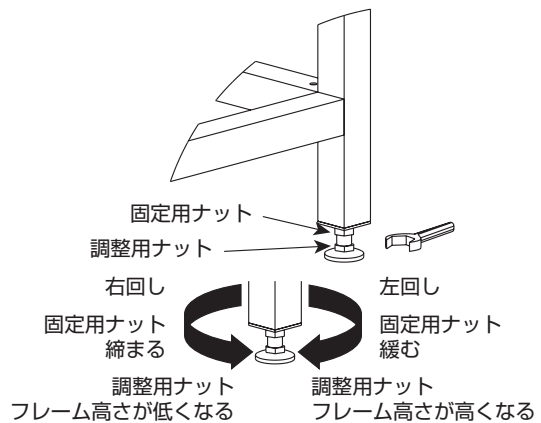
加熱機器側：金具 4 コ
シンク側：金具 4 コ

あらかじめ、アジャスター底部とフレーム下棧の間を 110mm (H850 の場合) に調整しておいてください。(H900 の場合は 160mm)

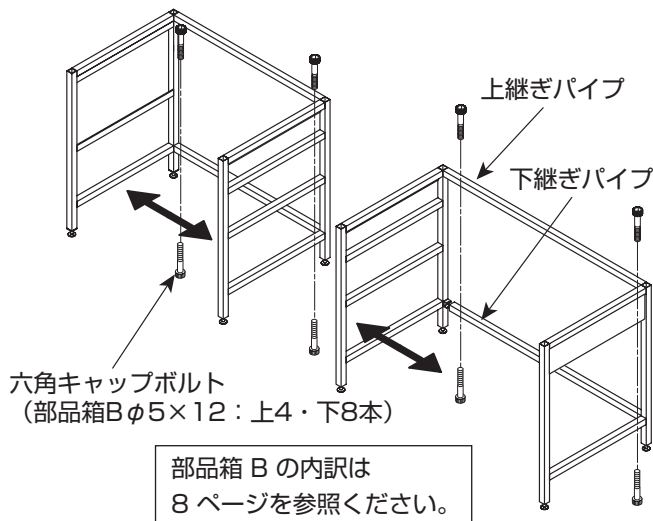
アジャスター高さ調整方法

付属レンチでナットを回し、高さを調整します。

- ・上側の固定用ナットを緩めます。(左回し)
 - ・下側の調整用ナットで高さを調整します。右に回すとフレーム高さが低くなり、左に回すと高くなります。
 - ・上側の固定用ナットを締めます。(右回し)
- フレーム下部の黒い樹脂パーツに当たるまでしっかり締めてください。



■上下継ぎパイプをコ型の金具に差し込み、六角キャップボルトで固定します。

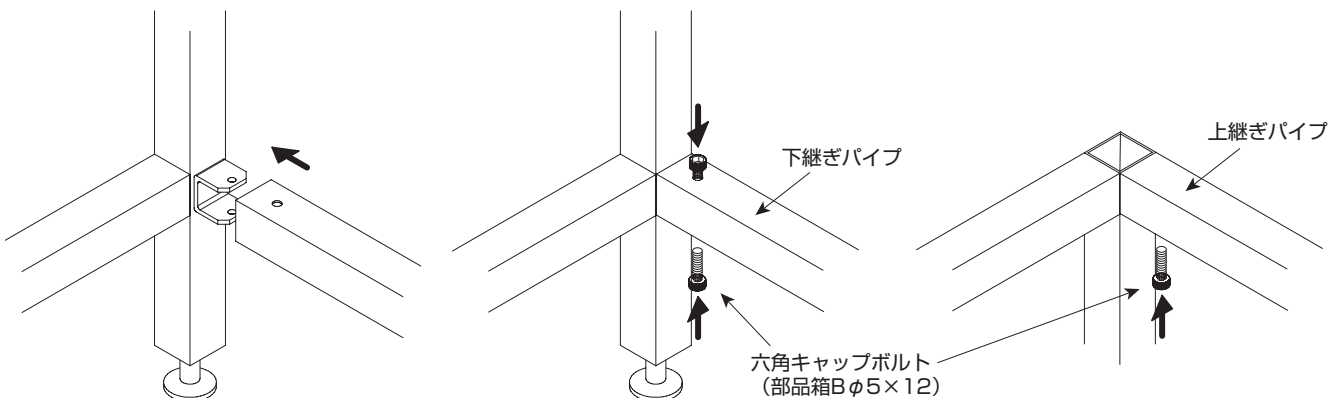


調理面高さ 850mm の場合、アジャスターは 23mm に調整します。

アジャスターは 33 mmまで調整可能です。

お願い 必ず最初に、継ぎパイプから取り付けてください。後からでは入りません。

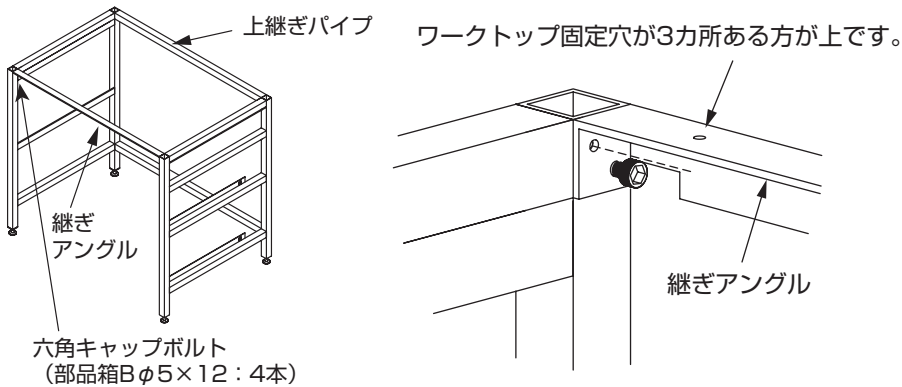
- ① 継ぎパイプをコ型の金具に差し込みます。
- ② 六角キャップボルトで上下から固定します。
- ③ 六角キャップボルトで下から固定します。



お願い +ドライバーで途中まで仮締めし、付属の六角レンチで締めてください。

2) 加熱機器フレームの組み立て

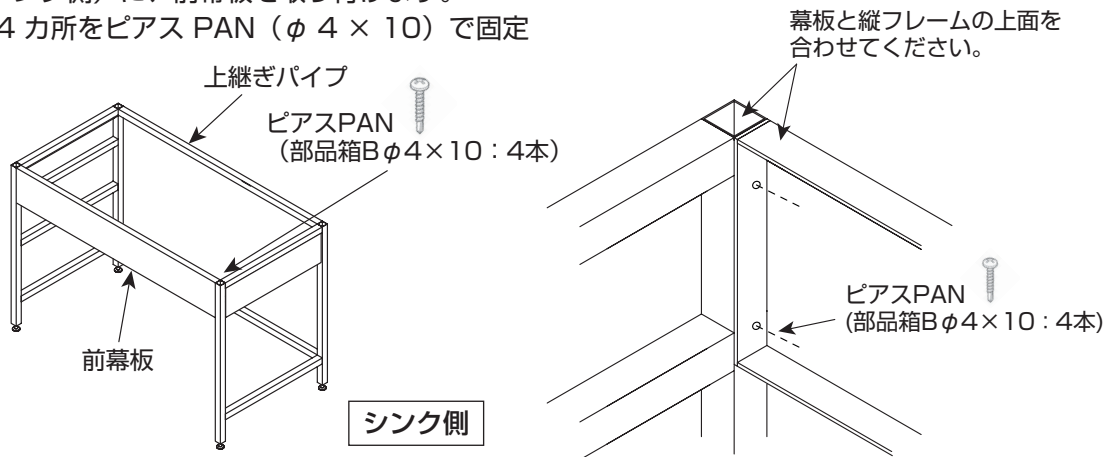
- 継ぎアングルの向きを確認して取り付けます。
- 継ぎアングルと縦フレームを左右 4 カ所、六角キャップボルトで固定します。



お願い ボルトが締めにくい時は、どこかに「ズレ」が生じている場合があります。確認後、調整してください。

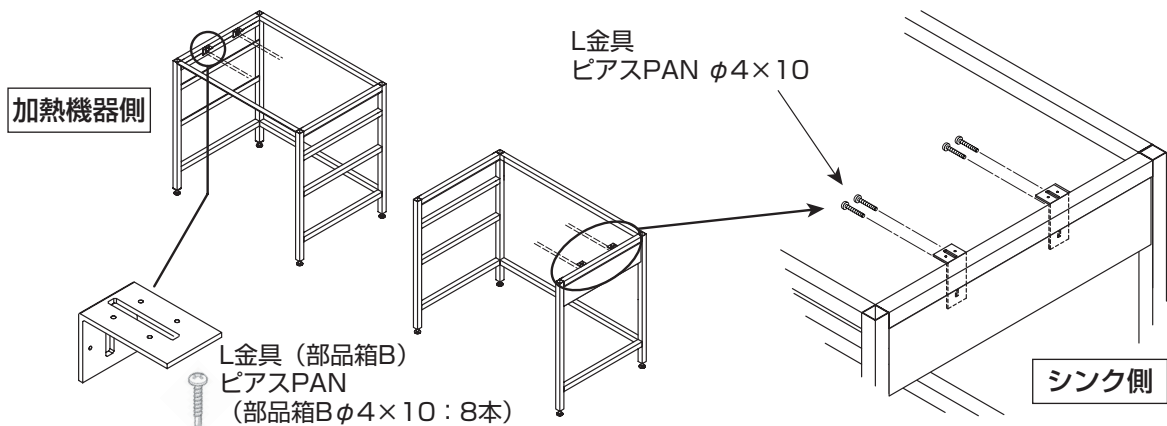
3) シンクフレームの組み立て

- 縦フレーム（シンク側）に、前幕板を取り付けます。
- 前幕板の左右 4 カ所をピաս PAN (φ 4 × 10) で固定します。



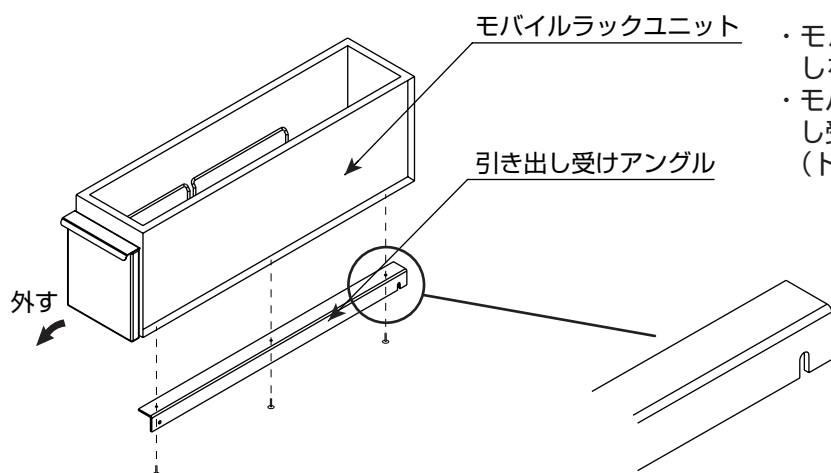
4) L 金具の取り付け

- L 金具を取り付けます。(ワークトップ固定用)
- L 金具を縦フレーム（シンク側/ガス側）のビス穴に合わせて 4 カ所に取り付けます。
- ガス側は、小引き出しのレールスペースを確保するため、L 金具の長手が上になるように固定します。
- L 金具を固定するために使用するビス（ピяс PAN φ 4 × 10）は 8 本です。

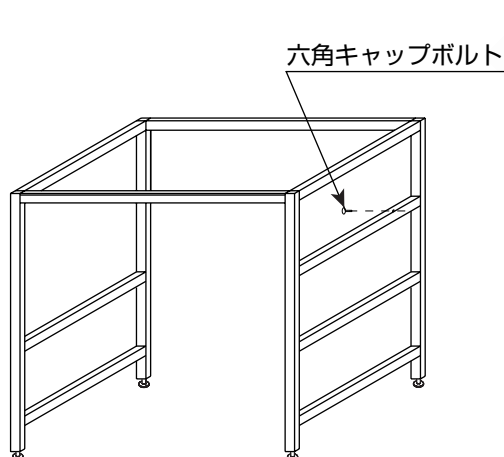
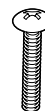


お願い 電動ドライバーのトルクが強すぎるとビス折れやねじ山つぶれとなりますので注意してください。

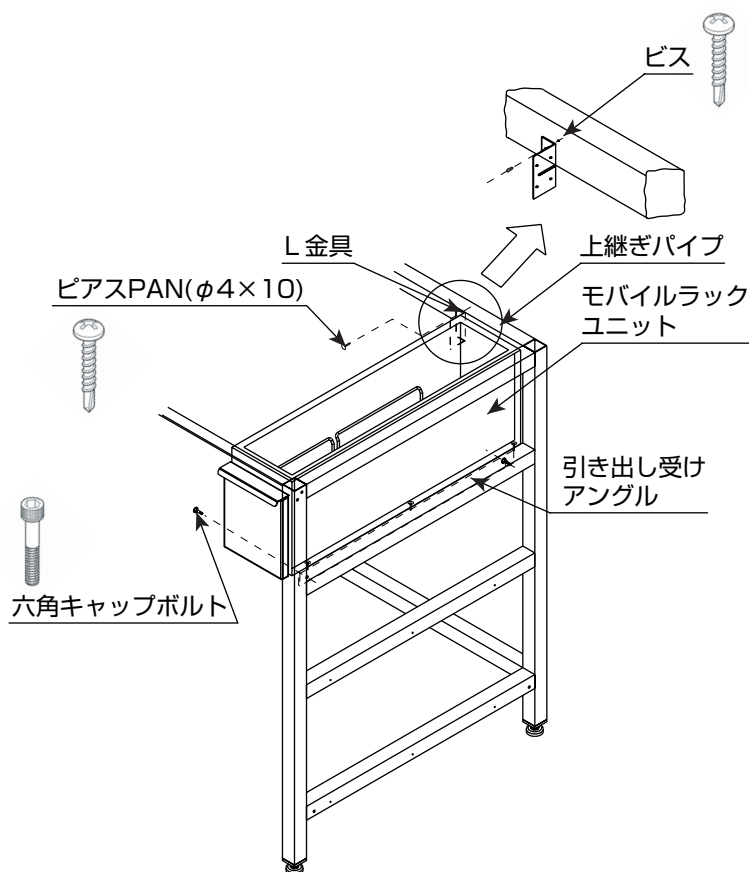
5) モバイルラックユニットの取り付け方法



- ・モバイルラックユニットの中の引き出しを取り外してください。
- ・モバイルラックユニットの底板に引き出し受けアングルを取り付けてください。
(トラス小ねじ $\phi 4 \times 10$: 3本)



- ・ガス側の片面の奥に引き出し受けアングル取り付け用の六角キャップボルトを仮止めしてください。



- ・引き出し受けアングルを仮止めした六角キャップボルトに引っ掛け、手前を六角キャップボルトで固定してください。

- ・背面の上継ぎパイプとモバイルラックユニットの側板の角にL金具を押し当て、上継ぎパイプにピアSPAN ($\phi 4 \times 10$) 1本でL金具を固定します。

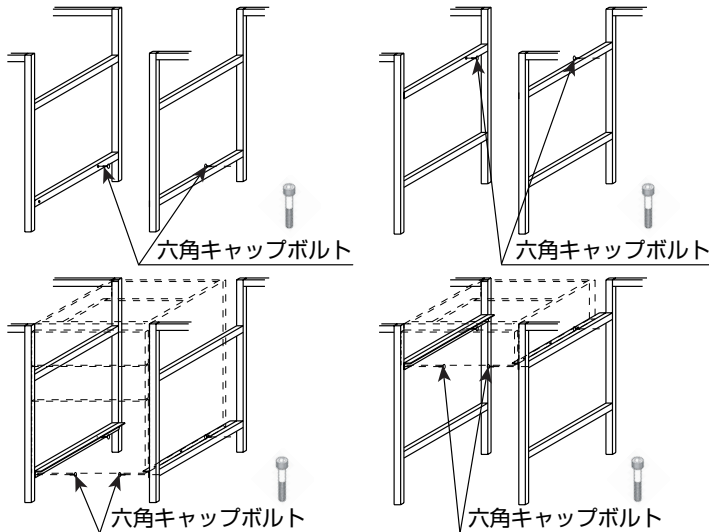
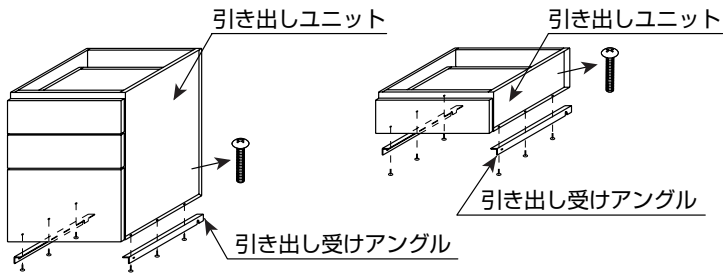
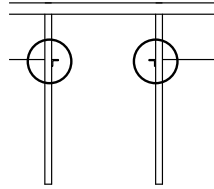
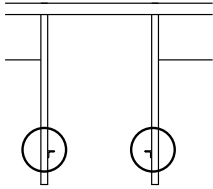
- ・取り付け後、引き出しをユニット内に戻します。

- ・ワークトップ取り付け後、モバイルラックユニットのワークトップへの固定を行ってください。(19ページ参照)

6) 引き出しユニット・食洗機ユニット・加熱機器下キャビネットの取り付け方法

- ・ 3 段引き出しユニット
- ・ 食洗機ユニット
- ・ 加熱機器下キャビネット

- ・ 1 段引き出しユニット



お願い

1 段引き出しユニットと 3 段引き出し・食洗機ユニット・加熱機器下キャビネットでの引き出し受けアングルの取り付け位置が異なります。

- ・ 引き出しユニット（または食洗機ユニット）の引き出しを取り外す
- ・ 引き出しユニットの底板に引き出し受けアングルを取り付ける
(トラス小ねじ $\phi 4 \times 10$ 6 本)

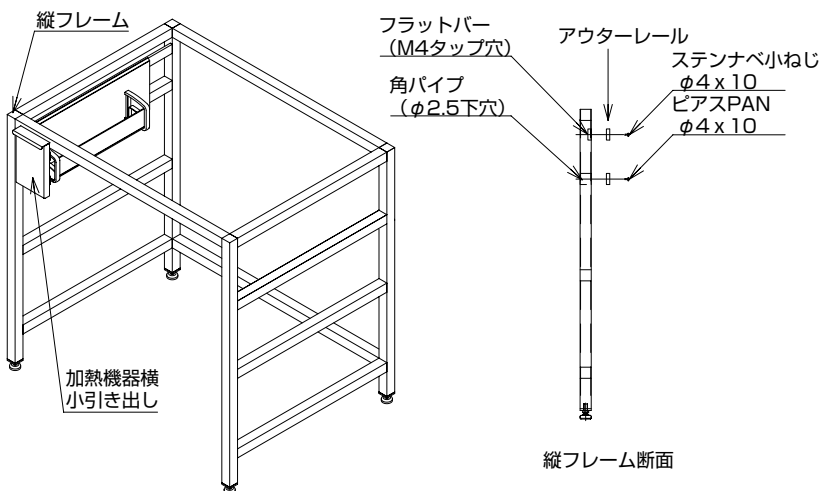
- ・ シンク側とガス側の間引き出し受けアングル取り付け用の六角キャップボルトを仮止め (奥 2 カ所)

- ・ 引き出し受けアングルを仮止めしたボルトに引っ掛け、手前の 2 カ所を六角キャップボルトにて固定
奥のボルトを増し締め

- ・ 取り付け後、引き出しをユニット内に戻す

7) 加熱機器横小引き出しの取り付け

- 加熱機器横小引き出しを取り付けます。



- 小引き出し本体からアウターレールを外し、縦フレームの下穴に対しアウターレールを固定します。

- $\phi 2.5$ の下穴にはビス (ピース PAN $\phi 4 \times 10$: 3 本) を使い、M4 のタップ穴には小ねじ (ステンナベ小ねじ $\phi 4 \times 10$: 3 本) を使います。

- 2 本のレールが平行であることを確認します。

- レールガイドに対しインナーレールをゆっくりと押し込みます。最初は少し重いですが、奥まで入るとスムーズに動きます。

お願い

スムーズに動かない場合は、レールが平行でないかインナーレールがアウターレールに正しく挿入されていない可能性があります。確認後、調整してください。

お願い

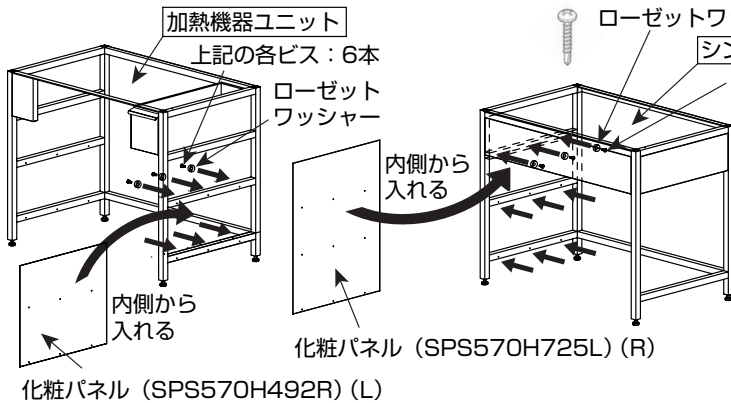
電動ドライバーのトルクが強すぎるとビス折れやねじ山つぶれの原因となりますので注意してください。

8) 引き出しサイドの化粧パネル取り付け (オプション)

シンクユニットの内側及び加熱機器ユニットの内側にそれぞれ化粧パネルを挿入し、フレームの下穴に合わせてビス固定します。

取り付けビス

- 角パイプに対して … ローゼットワッシャー+ピアス皿ビスφ4×10
- フラットバーに対して…ローゼットワッシャー+皿小ねじφ4×10



※本図は右シンク用を示し左シンク用は本図の左右対称となり、化粧パネルも左右対称となります

⚠ 注意

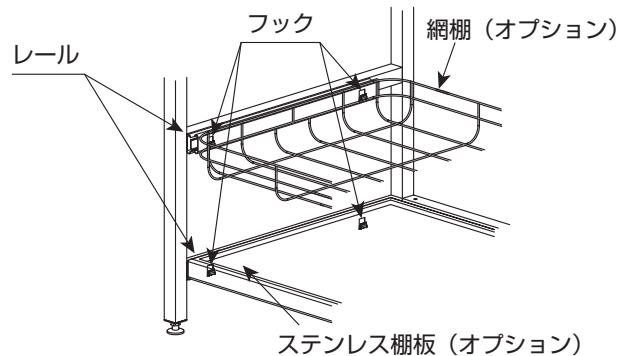
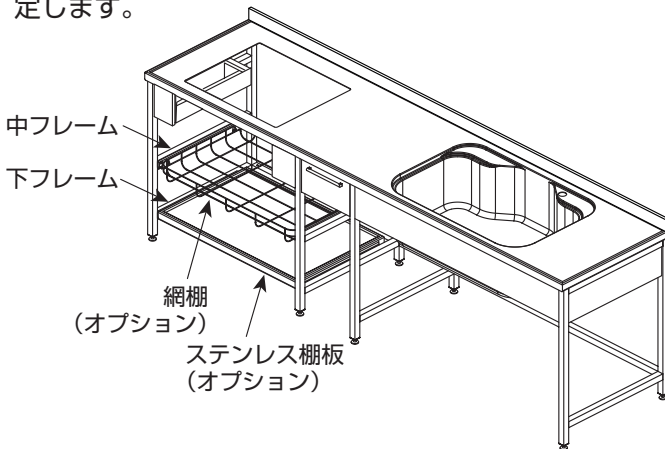


化粧パネルにひずみがおきないように締めてください。ビスをきつく締めるとひずみの原因になります。

9) 加熱機器下スライドラック (網棚とステンレス棚板) の取り付け (オプション)

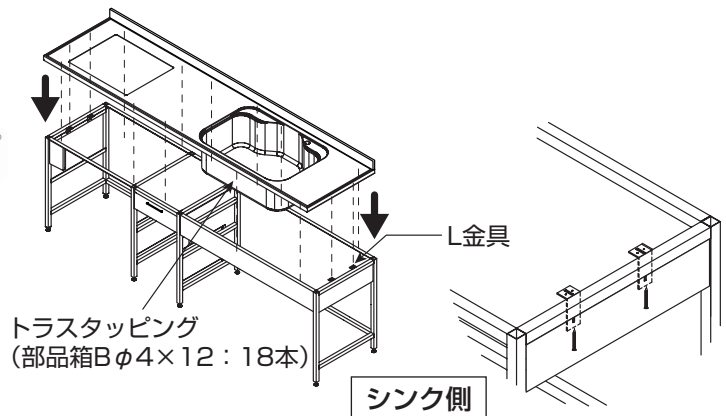
- レールを中フレーム、下フレームの取付穴に合わせて取付ビスにて固定してください。
- コンロ下に網棚とステンレス棚板を取り付けます。フレームに取り付けたレールのフックにかけて、固定します。

- 網棚は、2段目のワイヤーをフックにかけて、固定します。
- ステンレス棚板は、裏板の切り欠きにフックを入れて固定します。



10) ワークトップの取り付け

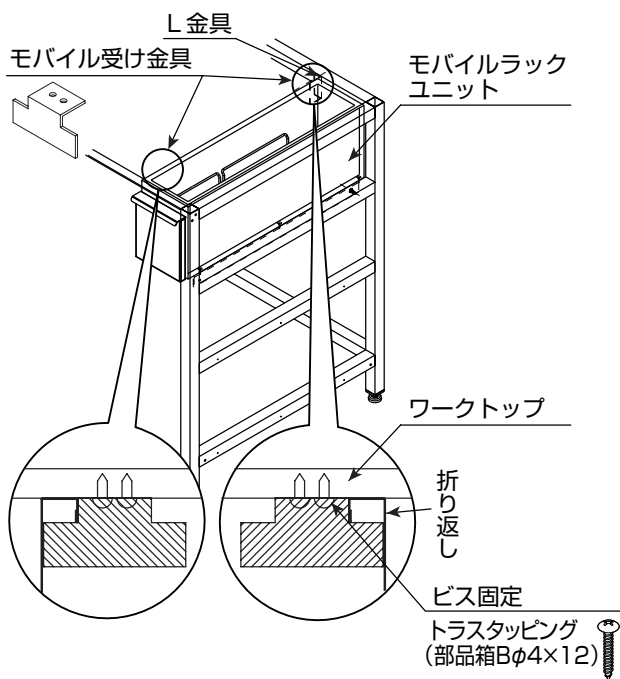
- ワークトップを取り付けます。
- 横フレームの下穴とL金具の穴を使い、ビス (トラスタッピングφ4×12:18本) で下側から固定します。
- ワークトップを固定する前にコンロ下スライド棚類を仮置きし、各部の「チリ」を合わせてください。



1	3	5
(ガス)	(シンク)	
2	4	6

L金具位置

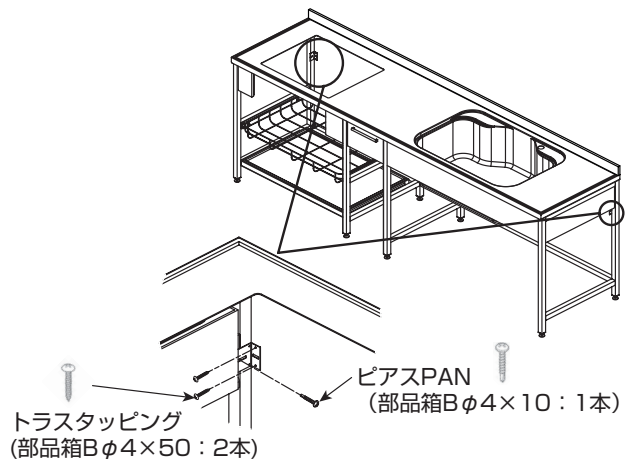
11) モバイルラックユニットの固定



モバイルラック受け金具をモバイルラックユニットの側板の折り返しにあてて、ワークトップ裏面へビス固定 (各2本) してください。

12) 壁面への固定

■ 壁面に固定します。

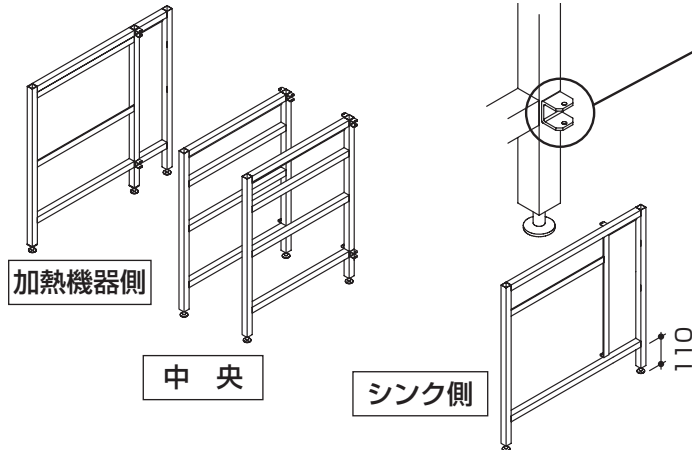


■ 縦フレームの下穴に対しビス (ピース PAN φ 4 × 10) で L 金具を取り付け、ビス (トラスタッピング φ 4 × 50) で壁面に固定します。

11 対面プランの取り付け

1) ベースフレームの組み立て

■縦フレーム（ガス側／中央／シンク側）を確認します。



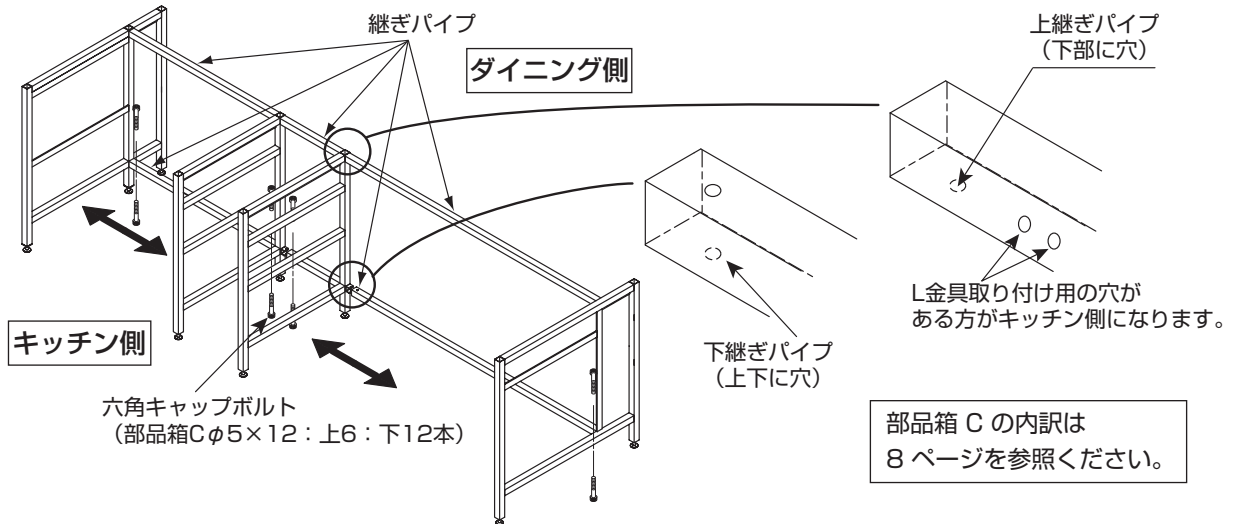
お願い

コ型の金具の数、位置、レールの有無をチェックしてください。

加熱機器側：金具 4 コ
中 央：金具 4 コ
シンク 側：金具 4 コ

あらかじめ、アジャスター底部とフレーム下棧の間を 110mm に調整しておいてください。(H850 の場合)
(14 ページ参照)

■継ぎパイプをコ型の金具に差し込み、六角キャップボルトで固定します。



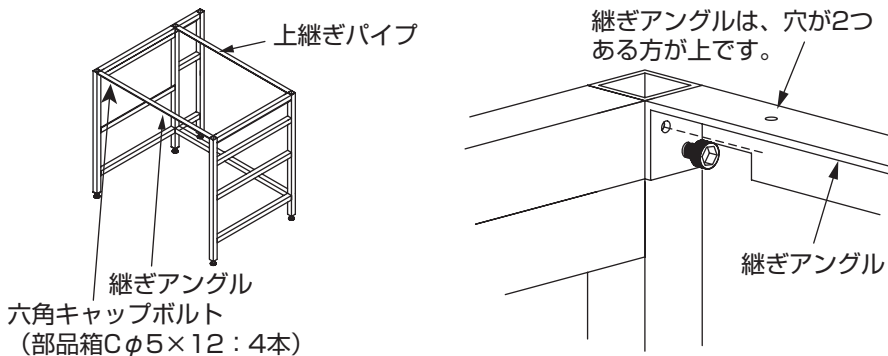
お願い 向きに注意して差し込んでください。

お願い 必ず最初に、継ぎパイプから取り付けてください。後からでは入りません。

2) 加熱機器フレームの組み立て

■継ぎアングルの向きを確認して取り付けます。

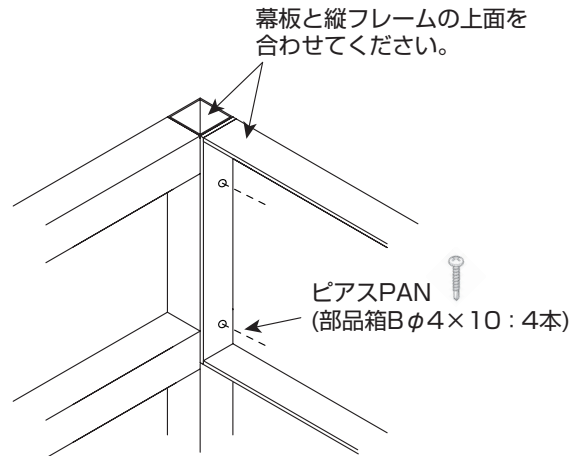
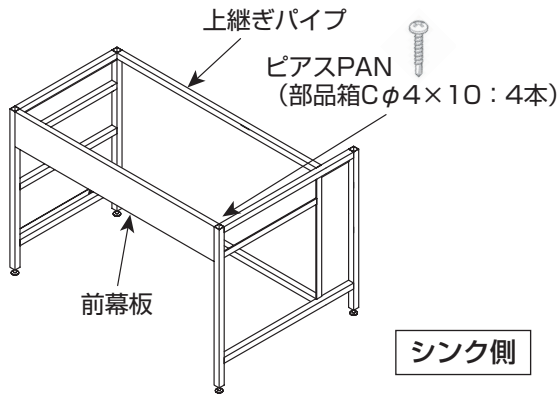
■継ぎアングルと縦フレームを左右 4 カ所、六角キャップボルトで固定します。



お願い ボルトが締めにくい時は、どこかに「ズレ」が生じている場合があります。確認後、調整してください。

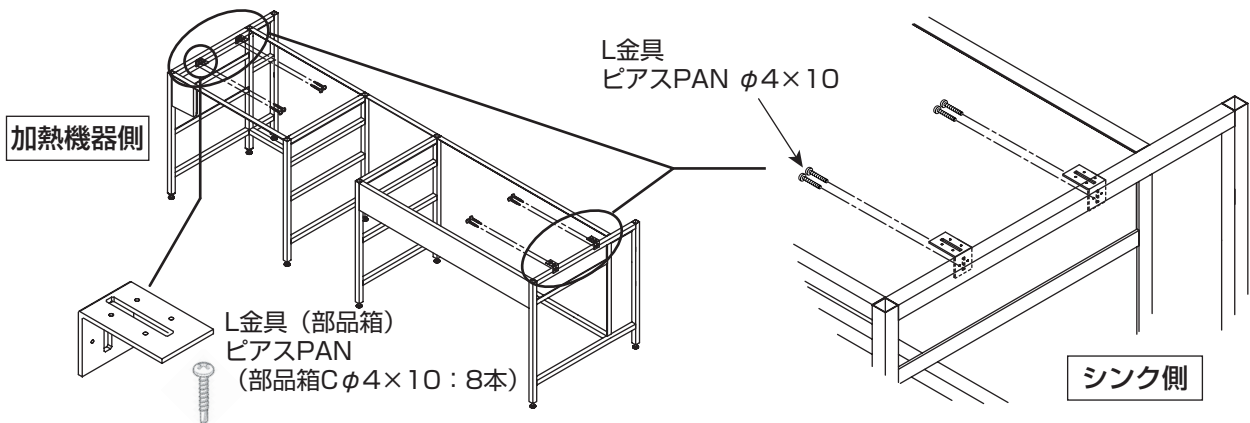
3) シンクフレームの組み立て

- 縦フレーム（シンク側）に、前幕板を取り付けます。
- 前幕板の左右4カ所をピասPAN（φ4×10）で固定します。



4) L金具の取り付け

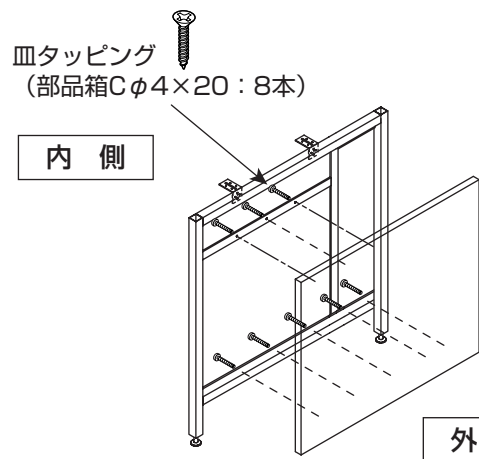
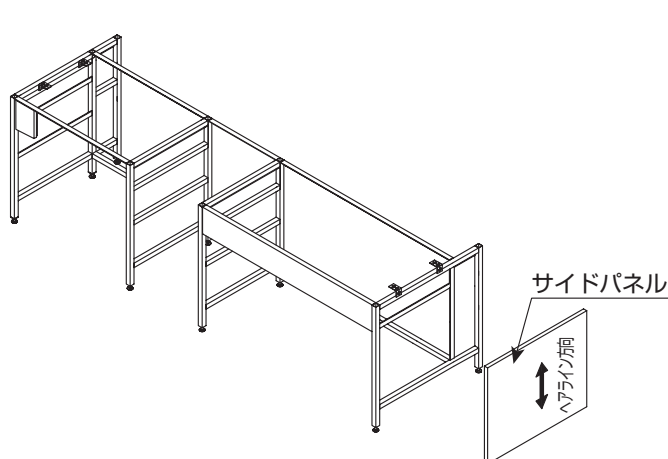
- L金具を取り付けます。（ワークトップ固定用）
- L金具を縦フレーム（シンク側/加熱機器側）のビス穴に合わせて4カ所に取り付けます。
- 全てのL金具の長手が上になるように固定します。
- L金具を固定するために使用するビス（ピասPAN φ4×10）は8本です。



お願い 電動ドライバーのトルクが強すぎるとビス折れやねじ山つぶれとなりますので注意してください。

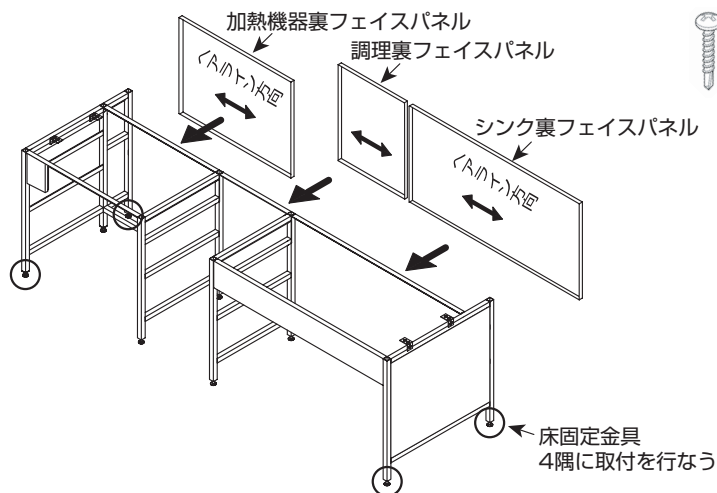
5) サイドパネルの取り付け

- サイドパネルを取り付けます。
- 縦フレーム（シンク側）の下穴を使い、ビス（皿タッピングφ4×20：8本）で内側から固定します。



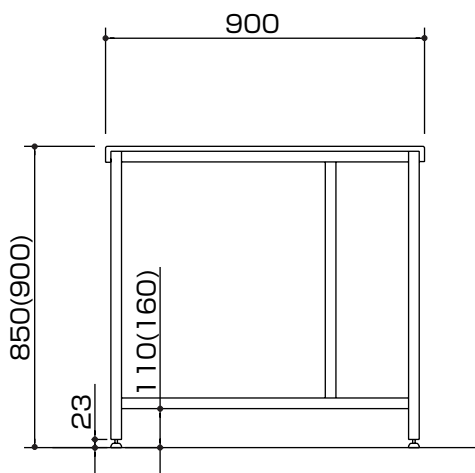
6) 背面用フェイスパネルの取り付け

- 背面用フェイスパネルを取り付けます。
- シンク裏・調理裏・加熱機器裏フェイスパネルを継ぎパイプとフェイスパネルの下穴を使い、ビス（ピアス PAN $\phi 4 \times 10$ ）で内側から固定します。（間口 2550mm のときはビスは 32 本使用）



7) 高さの調整

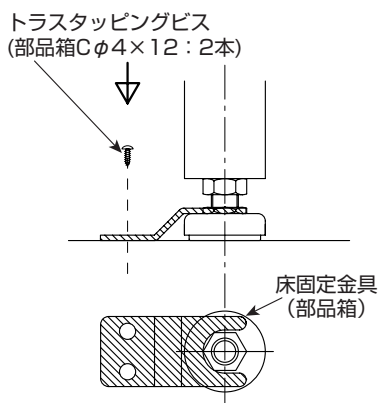
- 高さを微調整し、不陸をとります。



あらかじめ、アジャスター底部とフレーム下柵の間を 110mm (H850 の場合) に調整しておいてください。(H900 の場合は 160mm)

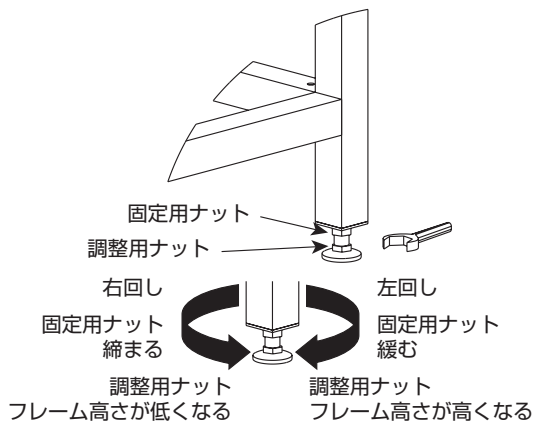
8) 床面への固定

- 両端の縦フレームの前後のアジャスターに床固定金具 4 コを取り付け、ビス（トラスタッピング $\phi 4 \times 12$: 8 本）で固定します。



アジャスター高さ調整方法

- 付属レンチでナットを回し、高さを調整します。
- ・ 上側の固定用ナットを緩めます。（左回し）
 - ・ 下側の調整用ナットで高さを調整します。
右に回すとフレーム高さが低くなり、左に回すと高くなります。
 - ・ 上側の固定用ナットを締めます。（右回し）
フレーム下部の黒い樹脂パーツに当たるまでしっかり締めてください。



調理面高さ 850mm の場合、アジャスターは 23mm に調整します。

アジャスターは 33 mm まで調整可能です。

⚠ 注意



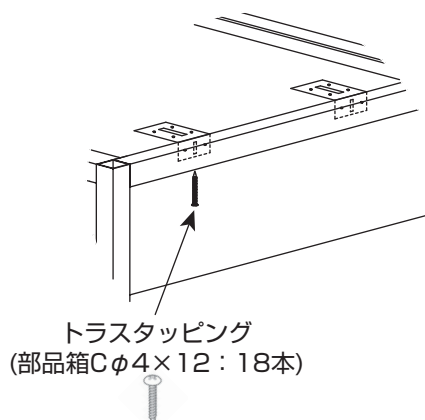
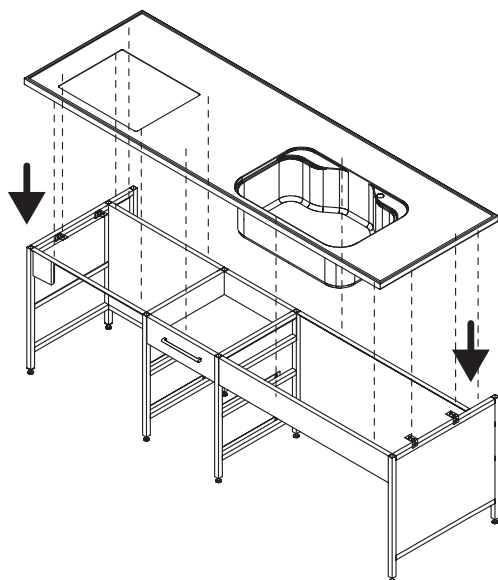
床固定後は高さ調整ができません。
必ず固定する前に高さ調整を行ってください。

9) モバイルラックユニットの取り付け	・・・ 16 ページ	5) モバイルラックユニットの取り付け方法参照
10) 引き出しの取り付け	・・・ 17 ページ	6) 引き出しユニット・食洗機ユニット・加熱機器下キャビネットの取り付け方法参照
11) 加熱機器横小引き出しの取り付け	・・・ 17 ページ	7) 加熱機器横小引き出しの取り付け参照
12) 加熱機器下スライドラックの取り付け (オプション)	・・・ 18 ページ	9) 加熱機器下スライドラック (網棚とステンレス棚板) の取り付け (オプション) 参照
13) ワークトップの取り付け		

ワークトップを取り付けます。

■横フレームの下穴とL 金具の穴を使い、ビス (トラスタッピングφ 4 × 12 : 18本) で下側から固定します。

■取り付ける前にコンロ下スライド棚類を仮置きし、各部の「チリ」を合わせてください。



トラスタッピング
(部品箱Cφ4×12:18本)

1 (ガス)	3	5
2	4 (シンク)	6

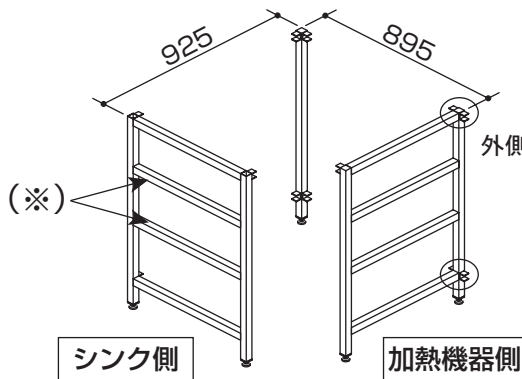
L 金具位置

14) 引き出し前板の調整	・・・ 41 ページ	引き出しの調整参照
15) 引き出しサイドの化粧パネル取り付け	・・・ 18 ページ	8) 引き出しサイドの化粧パネル取り付け (オプション) 参照

12 L型プランの取り付け

1) コーナーフレームの組み立て

■縦フレームを確認します。



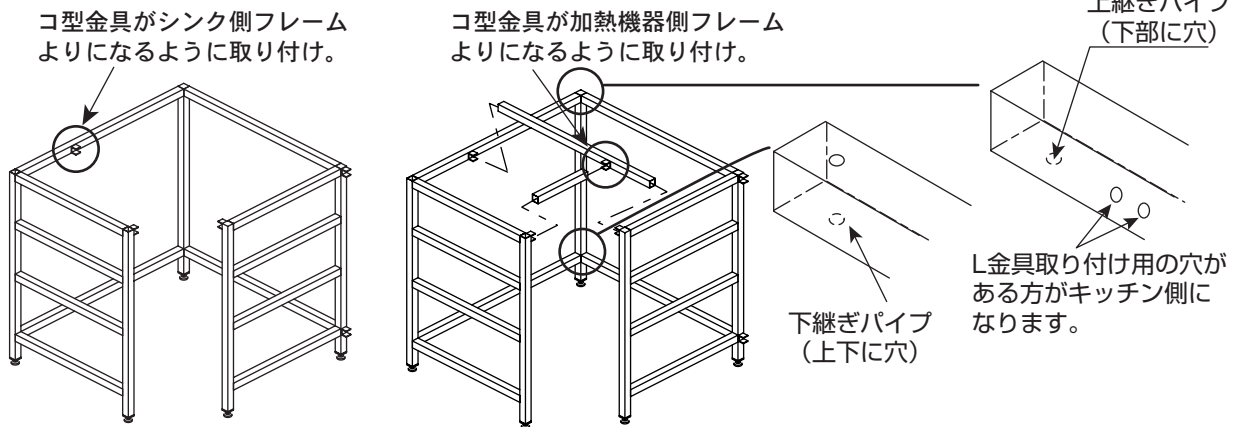
あらかじめ、アジャスター底部とフレーム下棧の間を 110 mm (H850 の場合) に調整しておいてください。

外側にコ型金具がある方が加熱機器

例外 自立式食洗機が入るプランの場合は両方にコ型金具があります。
t9mm フラットバーがついている方がシンク側になります。
(※部がフラットバーになっています)

■上下継ぎパイプをコ型金具に差し込み、六角キャップボルトで固定します。

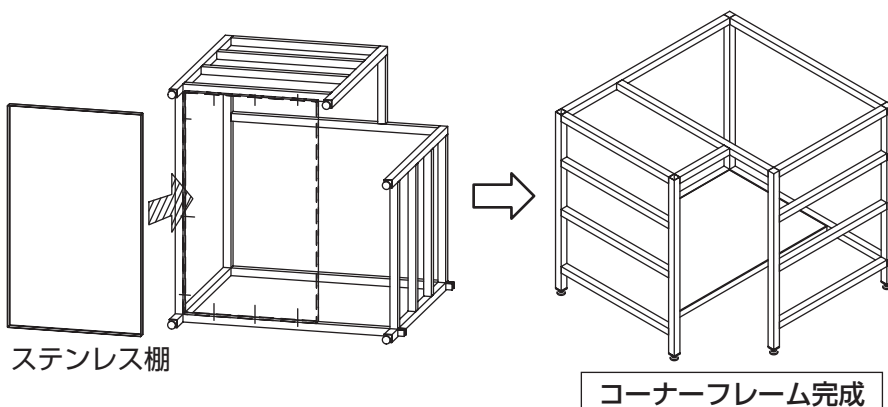
上継ぎパイプのコ型金具の位置に注意してください。



■引き出しサイドの化粧パネル取り付け (オプション)

18 ページを参照し、コーナーフレームの内側から化粧パネルを取り付けてください。
シンク側フレームの最下段の棧はステンレス棚を共締めするため、ビス止めしないでください。

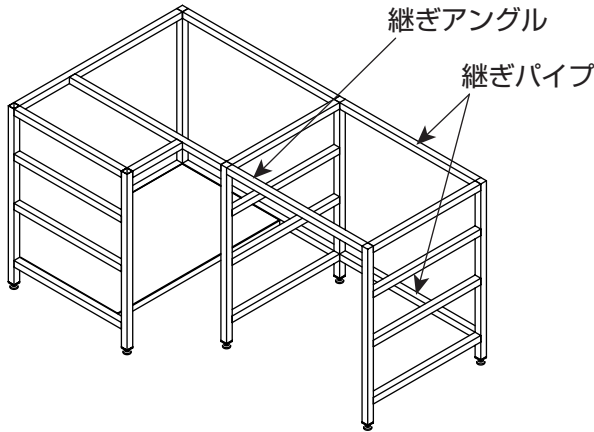
■コーナーフレームを横倒しにし、裏面からビス (ピラス PAN $\phi 4 \times 10 : 9$ 本) でステンレス棚を取り付けます。



2) 加熱機器フレームの組み立て

15 ページを参照して、加熱機器フレームを組み立ててください。

継ぎアングルおよび継ぎパイプはコーナーフレームに直接接続します。



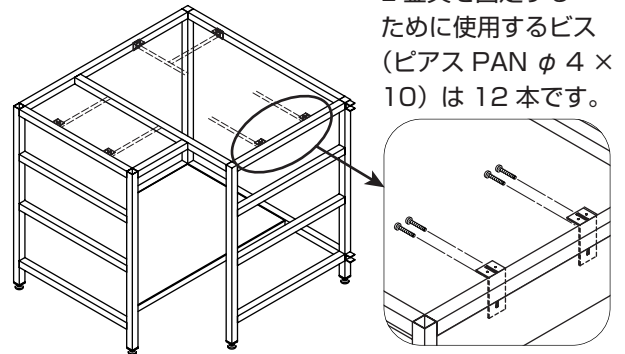
3) シンク側フレームの組み立て

15 ページを参照してください。

4) L 金具の取り付け

加熱機器フレームおよびシンクフレームの L 金具取り付けについては 15 ページを参照。

コーナーフレーム



お願い 電動ドライバーのトルクが強すぎるとビス折れやねじ山つぶれとなりますので注意してください。

5) モバイルラックユニットの取り付け方法

16 ページを参照

6) 引き出しユニット・食洗機ユニット・加熱機器下キャビネットの取り付け方法

17 ページを参照

7) 加熱機器横小引き出しの取り付け

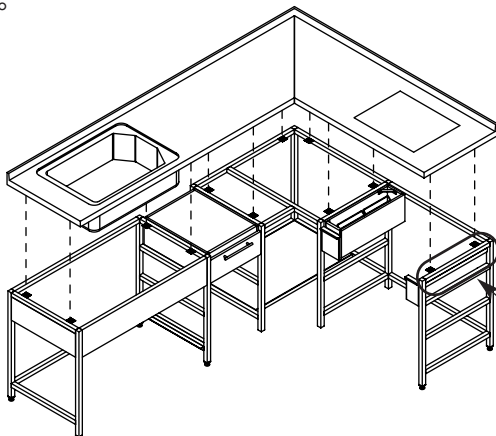
17 ページを参照

8) 加熱機器下スライドラック（網棚とステンレス棚板）の取り付け（オプション）

18 ページを参照

9) ワークトップの取り付け

- L 型ワークトップのジョイント方法については、ワークトップに同梱の説明書を参照してください。
- ワークトップを固定する前にコンロ下スライド棚類を仮置きし、各部の「チリ」を合わせてください。
- 手順 4) で取り付けした L 金具を使用し、ビス（トラスタッピングφ 4 × 12 : 24 本）で下側から固定します。



8	9	11
7 (コーナー)	10	(ガス)
		12
5	6	
3	4	
(シンク)		
1	2	

お願い

L 金具位置

ガス側は小引き出しのレールスペースを確保するため、L 金具の長手が上になるように固定します。

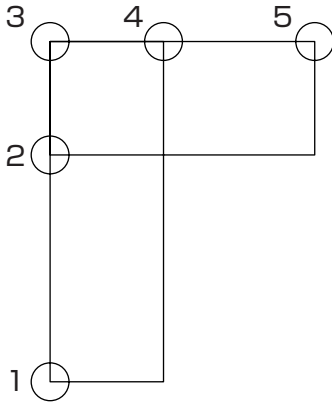
10) モバイルラックユニットの固定

19 ページを参照

11) 壁面への固定

■ 壁面に固定します。

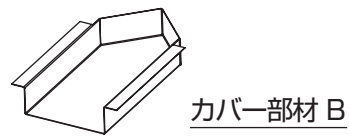
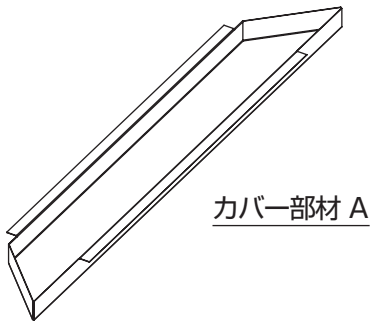
■ 図の位置の縦フレームの下穴に対しビス（ピラス PAN $\phi 4 \times 10$ ）で L 金具を取り付け、ビス（トラス タッピング $\phi 4 \times 50$ ）で壁面に固定します。



12) ジョイントカバーの取り付け

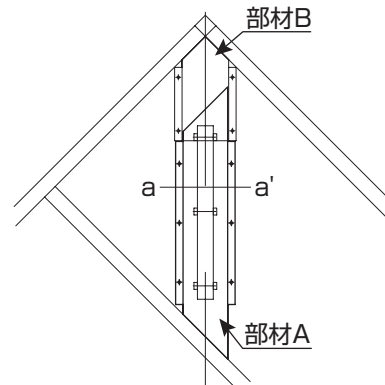
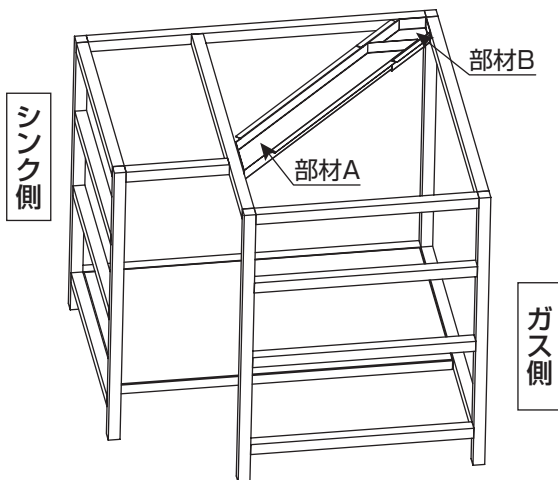
L 型ステンレスワークトップをボルトにてジョイントした後、

ジョイント部にカバー部材を取り付けてください。（取り付けビス：トラス タッピング $\phi 4 \times 12$ ）



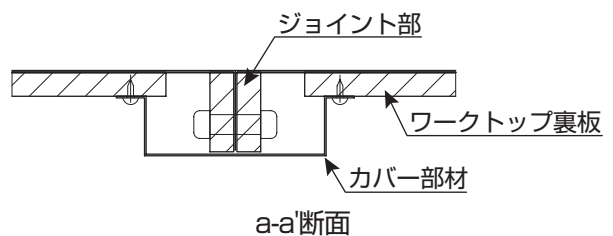
■ 位置合わせのために部材 A と部材 B を重ねてジョイント部に当ててください。

■ 部材 A から順次ビス止めしてください。



コーナーフレームに対するジョイントカバーの納まり

- ・ 部材 A は前方のフレームに当たります。
- ・ 部材 A は L/R によって前後が変わります。（図は L タイプを示しています。）
- ・ 部材 B は後方のフレームに当たります。



13 II型プランの取り付け

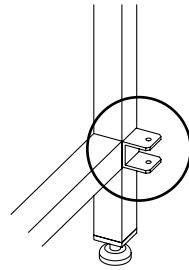
ガス側（壁付け）の取り付け

※ I型壁付けプランとは一部手順が異なります。

1) ベースフレームの組み立て

■ 縦フレーム（両側／中央）を確認します。

あらかじめ、アジャスター底部とフレーム下棧の間を110mmに調整しておいてください。（H850の場合）
（14 ページ参照）

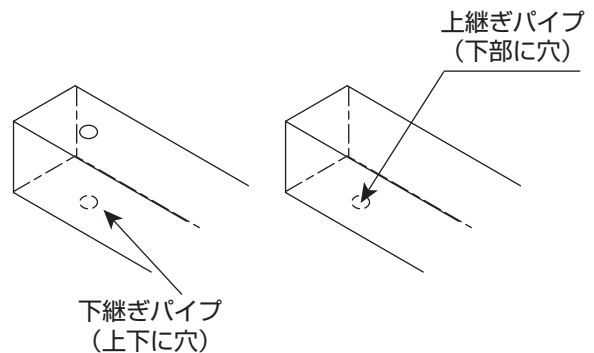
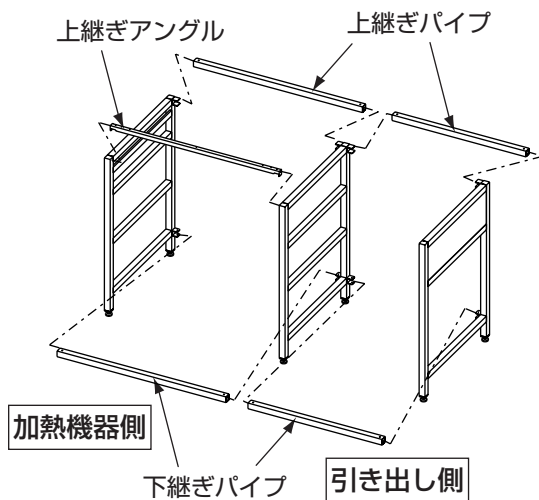


コ型の金具の数、位置をチェックしてください。

両側：金具上下各 1 コ
中央：金具上下各 2 コ

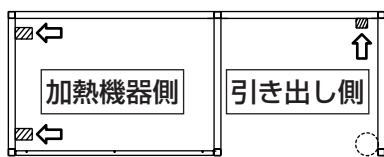
■ 上下継ぎパイプをコ型の金具に差し込み、六角キャップボルトで固定します。（14 ページ参照）

■ 加熱機器側に上継ぎアングルを取り付けます。（15 ページ参照）



2) L金具の取り付け（15 ページ参照）

■ 図の位置にL金具を取り付けます。



平面図

ここは手順6) で固定します

お願い

ガス側は小引き出しのレールスペースを確保するため、L金具の長手が上になるように固定します。

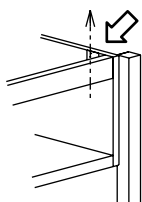
3) モバイルラックユニットの取り付け（16 ページ参照）

4) 加熱機器横小引き出しの取り付け (17 ページ参照)

5) 引き出しユニットの取り付け (17 ページ参照)

6) ワークトップの取り付け (18 ページ参照)

- ワークトップを固定する前に引き出しユニット、コンロ下スライド棚類を仮置きし、各部の「チリ」を合わせてください。
- 手順 2) で取り付けしたL金具とワークトップをトラスタッピング ($\phi 4 \times 12$) で固定します。
- 端側の引き出しのコーナー金具 (矢印の金具) の穴とワークトップをトラスタッピング ($\phi 4 \times 10$) で固定します。

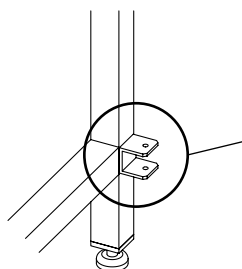


7) 壁面への固定 (19 ページ参照)

シンク側（対面）の取り付け

1) ベースフレームの組み立て (20 ページ参照)

- 縦フレーム（両側／中央）を確認します。



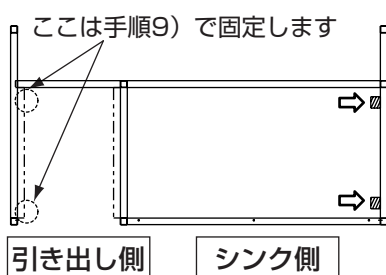
コ型の金具の数、位置を
チェックしてください。

両側：金具上下各 1 コ
中央：金具上下各 2 コ

2) シンクフレームの組み立て (21 ページ参照)

3) L 金具の取り付け (21 ページ参照)

- 図の位置に L 金具を取り付けます。(2 カ所)



4) サイドパネルの取り付け (21 ページ参照)

- 両サイドをビス（皿タッピングφ 4 × 20）で内側から固定します。

5) 背面用フェイスパネルの取り付け (22 ページ参照)

6) 高さの調整 (22 ページ参照)

7) 床面への固定 (22 ページ参照)

8) 引き出しユニットの取り付け (3 段引き出し、食洗機ユニットの場合)

- 引き出しユニットの引き出しを取り外した状態で引き出しアングルと引き出し底板の穴をトラス小ねじ（φ 4 × 10）6 本で固定します。
- フレームへの固定方法は 17 ページ参照

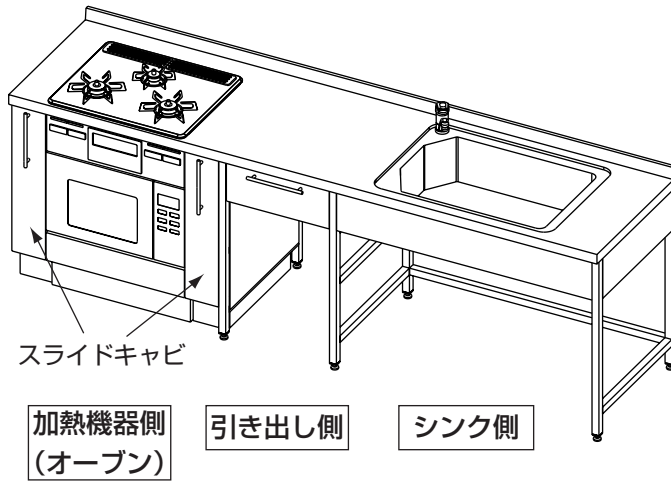
9) ワークトップの取り付け (18 ページ参照)

- 3 で取り付けた L 金具とワークトップをトラスタッピング（φ 4 × 12）で固定します。
- 端側の引き出しのコーナー金具（手前、奥 2 カ所）とワークトップをトラスタッピング（φ 4 × 12）で固定します。(28 ページ参照)

14 オープンプランの取り付け

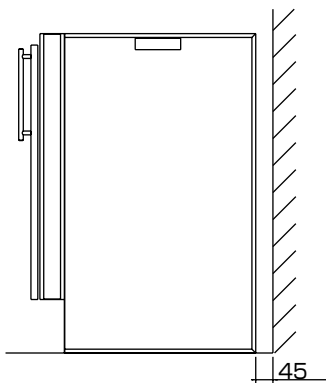
※図は右シンク用で示しております。

1型（壁付け）の取り付け

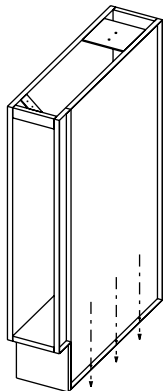


1) 加熱機器部の取り付け

■スライドキャビを設置します。



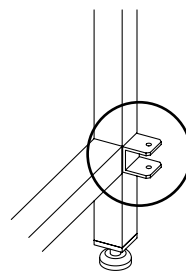
壁から 45mm あけてキャビネットを設置します。



側板下小口の穴を使い、ビス（トラスタッピングφ4×12）で床面に固定します。
（左右両側。横が壁の場合は片側のみ）

2) ベースフレームの組み立て（14ページ参照）

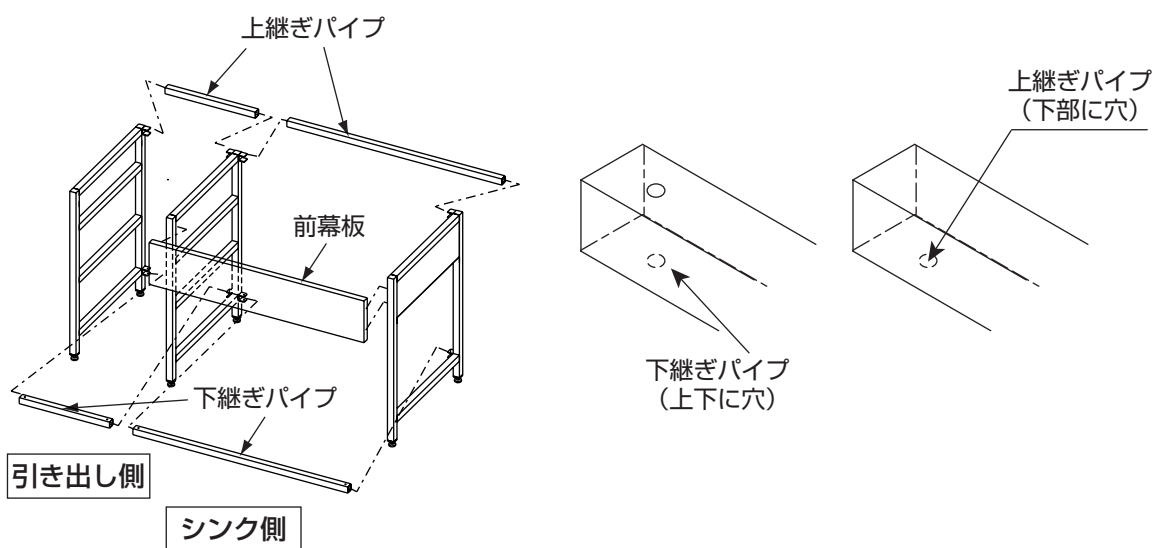
■縦フレーム（両側／中央）を確認します。



コ型の金具の数、位置を
チェックしてください。

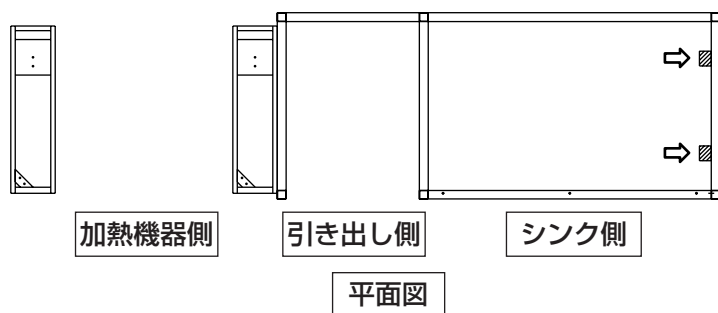
両側：金具上下各 1 コ
中央：金具上下各 2 コ

■上下継ぎパイプ・前幕板を取り付けます。(14、15 ページ参照)



3) L 金具の取り付け (15 ページ参照)

■図の位置にL 金具を取り付けます。(2 カ所)



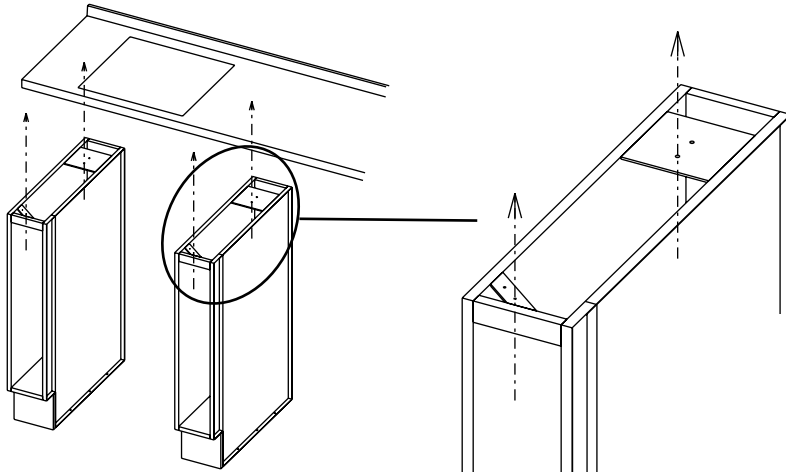
4) 引き出しユニット・食洗機ユニットの取り付け (17 ページ参照)

5) ワークトップの取り付け

■シンクフレームとワークトップの固定 (18 ページ参照)

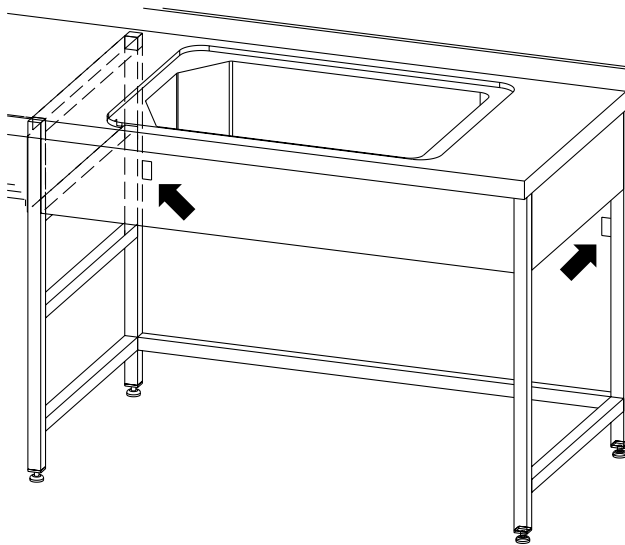
■スライドキャビとワークトップの固定

手前はコーナー金具の穴を、奥は棧の穴を使い、ビス (トラスタッピングφ 4 × 12) で下側から固定します。



6) 壁面への固定 (19 ページ参照)

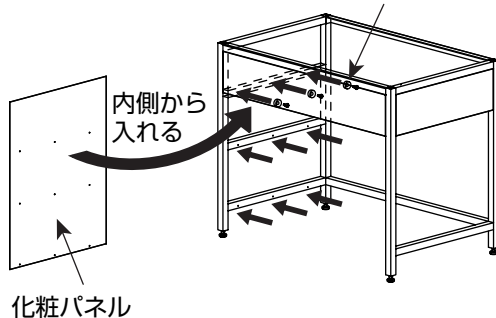
■固定箇所はシンクフレームの縦フレーム (矢印 2 カ所) です。



7) 引き出しサイドの化粧パネル取り付け (オプション) (18 ページ参照)

■シンクフレームユニットの内側に化粧パネルを挿入し、シンクフレームユニットの下穴に合わせて取り付けビス (ピաս皿ビスφ 4 × 10 + ローゼットワッシャー) で固定します。

ピաս皿ビス+ローゼットワッシャー : 9本

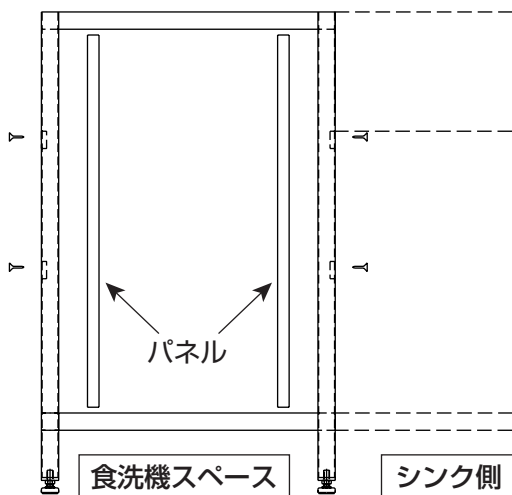


15 食洗スペース部分パネル・配管カバーの取り付け

※図は右シンク用で示しております。

1) パネルの取り付け

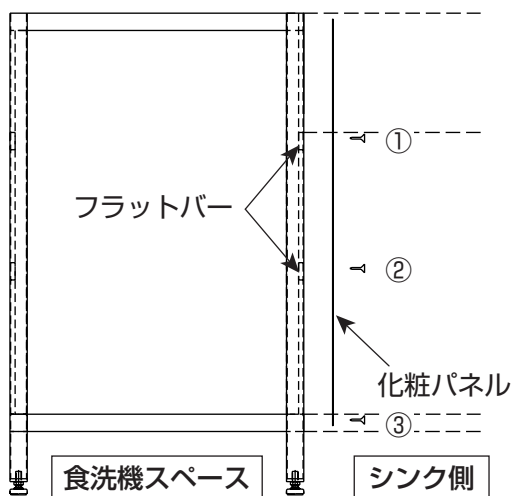
■ パネルを食洗機スペースの内側からはめ込み、外側から皿タッピングビス (φ 4 × 20) 左右 12 本で固定します。



2) 化粧パネルの取り付け

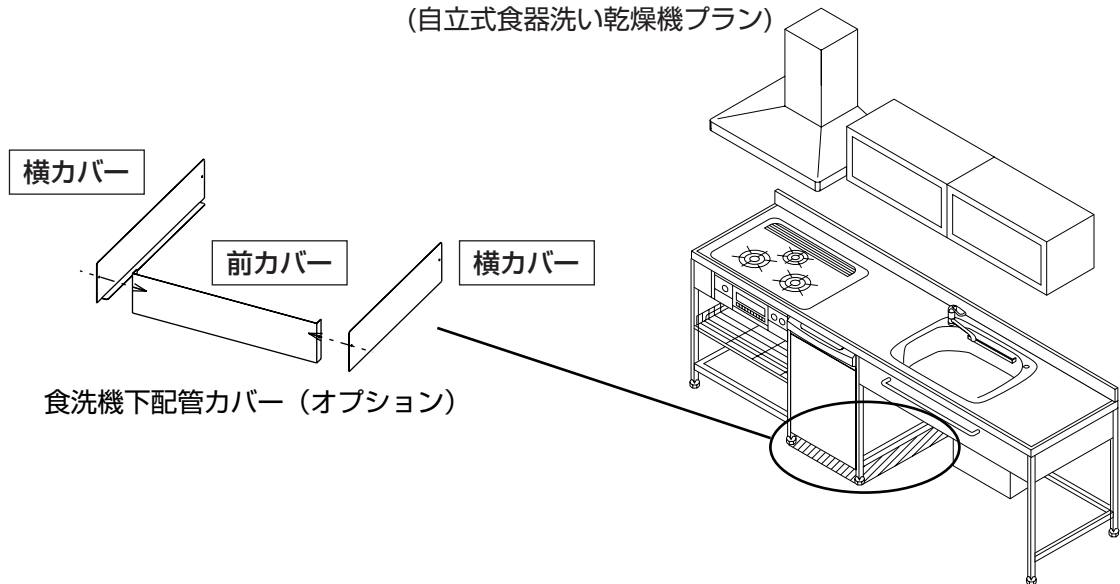
■ シンク側から化粧パネルを挿入し、フレームの下穴に合わせてビスで固定します。

①②のバー部分は皿小ねじ+ローゼットワッシャー (6 本) で、③の角パイプ部分はピアス皿ビス+ローゼットワッシャー (3 本) で固定します。



配管カバーの取り付け

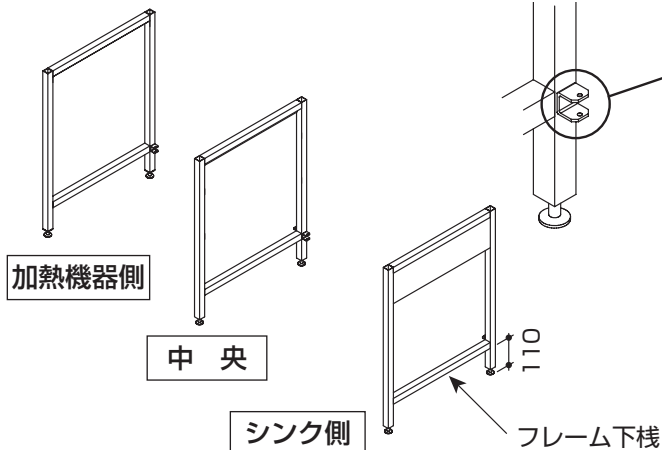
- 食洗機設置後、食洗機下部分で前カバーに横カバーを皿小ねじ+ローゼットワッシャーで固定します。
 - ※ 組上がり後の配管カバーは食洗機スペースより幅が大きくなる為、配管カバーを組んだ状態で食洗機下に挿入することはできません。
 - ※ 横カバーは大・小があります。配管ホースが通る側が小になります。



16 コンパクトキッチン (ビルトインタイプ) の取り付け

1) ベースフレームの組み立て

■縦フレーム（加熱機器側／中央／シンク側）を確認します。



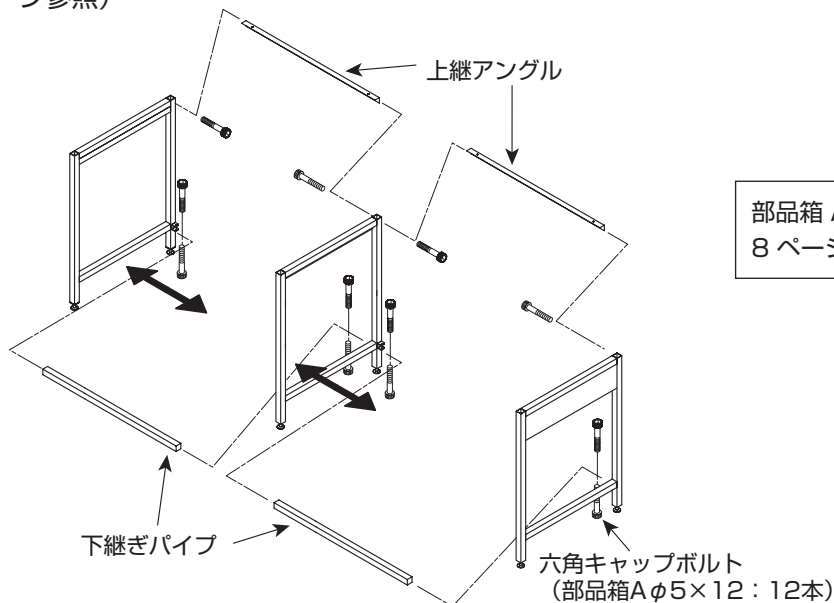
お願い

コ型の金具の数、位置、レールの有無をチェックしてください。

加熱機器側：金具 1 コ
中 央：金具 2 コ
シンク側：金具 1 コ

あらかじめ、アジャスター底部とフレーム下枠の間を 110mm に調整しておいてください。
(14 ページ参照) (H850 の場合)

■縦フレームと上継アングル、下継ぎパイプ 16 カ所を六角キャップボルトで固定します。
(14、15 ページ参照)

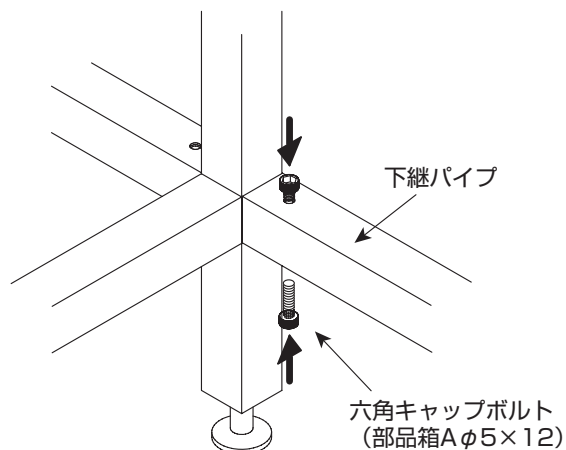
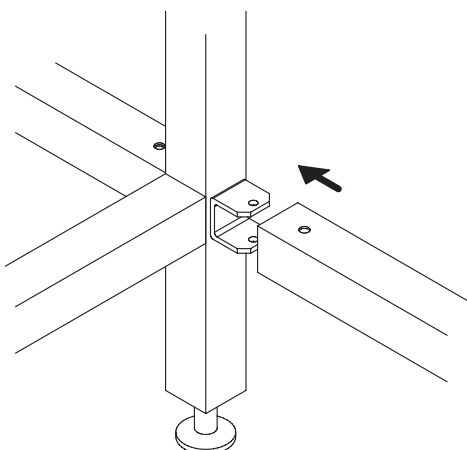


部品箱 A の内訳は
8 ページを参照ください。

お願い 必ず最初に、継ぎパイプから取り付けてください。後からでは入りません。

① 継ぎパイプをコ型の金具に差し込みます。

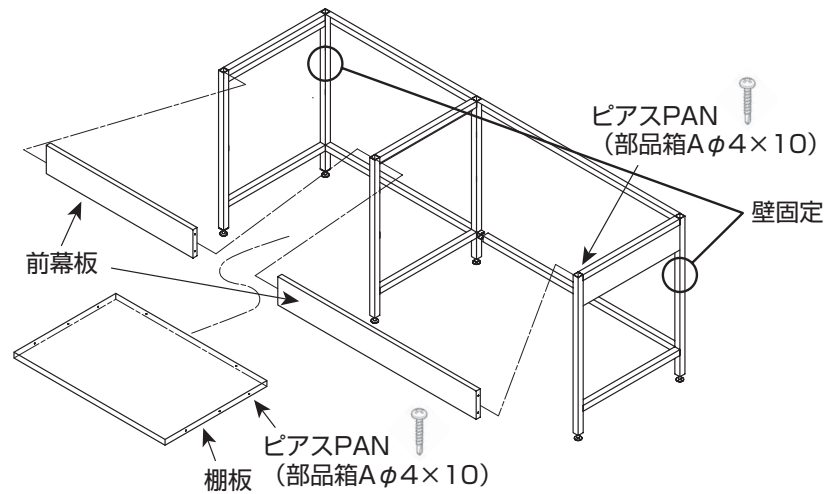
② 六角キャップボルトで上下から固定します。



お願い +ドライバーで途中まで仮締めし、付属の六角レンチで締めてください。

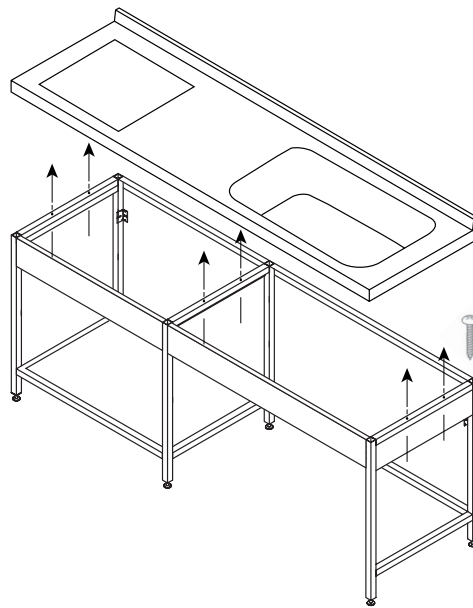
2) 壁固定金具、棚の取り付け

- 幕板と縦フレームの取り付けは4カ所をピասPAN $\phi 4 \times 10$ で固定します。(15ページ参照)
- 棚板の取り付けは8カ所をピասPAN $\phi 4 \times 10$ で固定します。



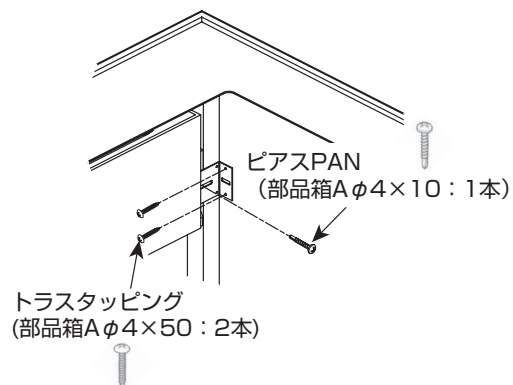
3) ワークトップの取り付け

- ワークトップを取り付けます。
- ビス (トラスタッピング $\phi 4 \times 12 : 6$ 本) で下側から固定します。



4) 壁面への固定

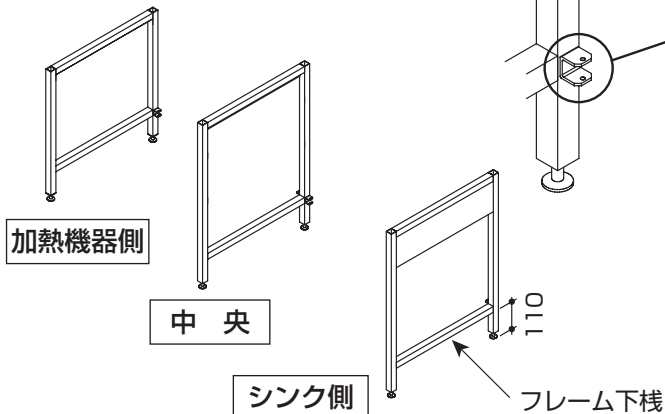
- 壁面に固定します。
- 縦フレームの下穴に対しビス (ピラスPAN $\phi 4 \times 10$) でL金具を取り付け、ビス (トラスタッピング $\phi 4 \times 50 : 2$ 本) で壁面に固定します。



17 コンパクトキッチン (セクショナルタイプ) の取り付け

1) ベースフレームの組み立て

■縦フレーム (加熱機器側/中央/シンク側) を確認します。



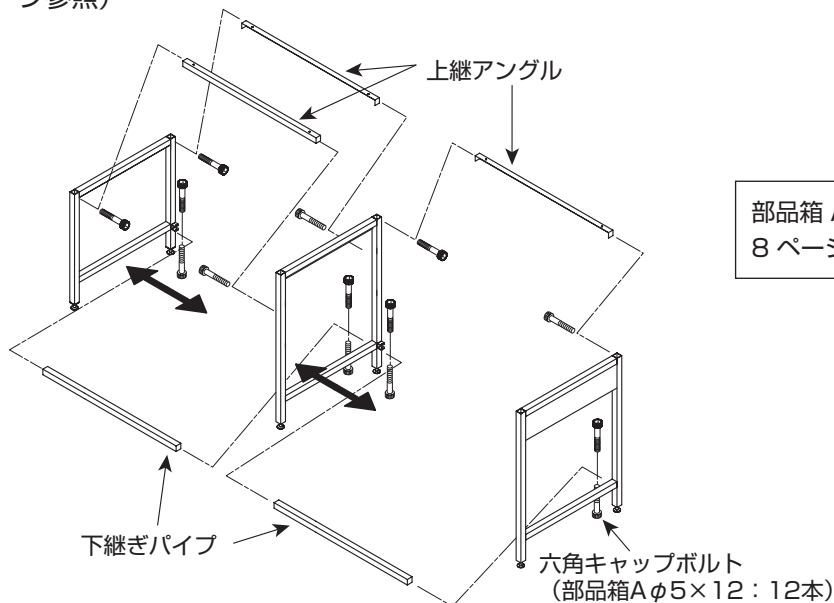
お願い

コ型の金具の数、位置、レールの有無をチェックしてください。

加熱機器側：金具 1 コ
 中 央：金具 2 コ
 シンク 側：金具 1 コ

あらかじめ、アジャスター底部とフレーム下枠の間を 110mm に調整しておいてください。
 (14 ページ参照) (H850 の場合)

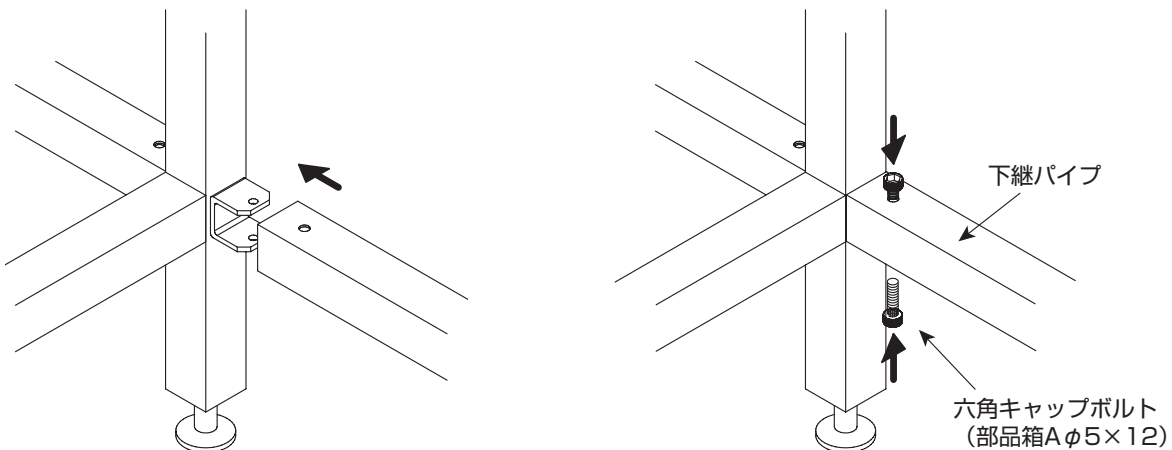
■縦のフレームと上継アングル、下継ぎパイプ 20 カ所を六角キャップボルトで固定します。
 (14、15 ページ参照)



部品箱 A の内訳は
 8 ページを参照ください。

お願い 必ず最初に、継ぎパイプから取り付けてください。後からでは入りません。

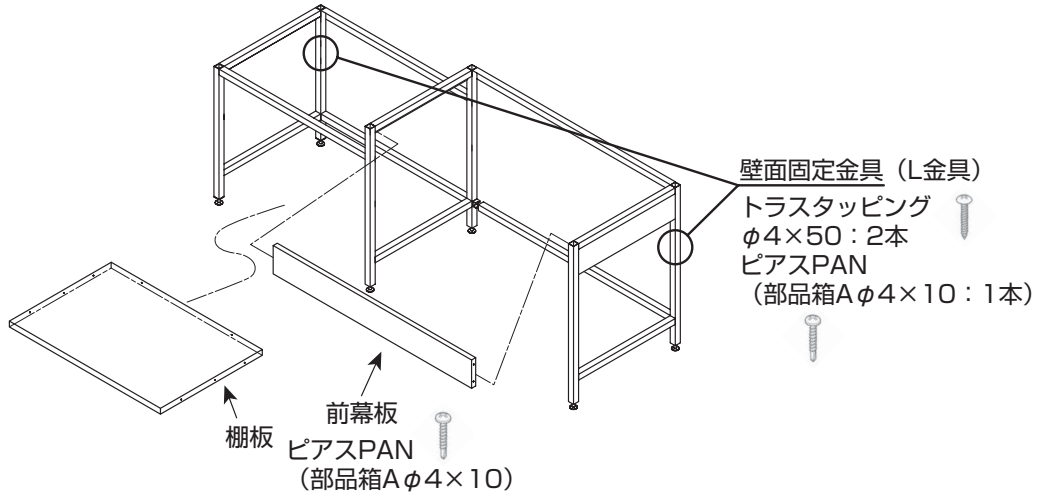
- ① 継ぎパイプをコ型の金具に差し込みます。
- ② 六角キャップボルトで上下から固定します。



お願い +ドライバーで途中まで仮締めし、付属の六角レンチで締めてください。

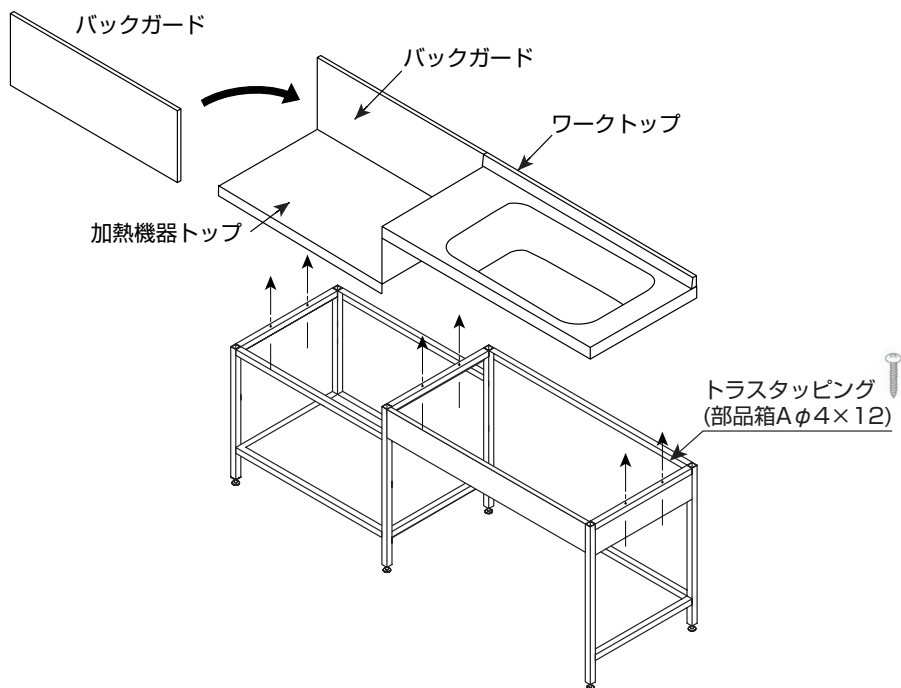
2) 壁固定金具、棚の取り付け

- 幕板と縦フレームの取り付けは 4 か所をピース PAN $\phi 4 \times 10$ で固定します。(15 ページ参照)
- 棚板の取り付けは 8 か所をピース PAN $\phi 4 \times 10$ で固定します。
- 壁面に固定します。(36 ページ参照)



3) ワークトップの取り付け

- ワークトップを取り付けます。
- ビス (トラスタッピング $\phi 4 \times 12$: 6本) で下側から固定します。

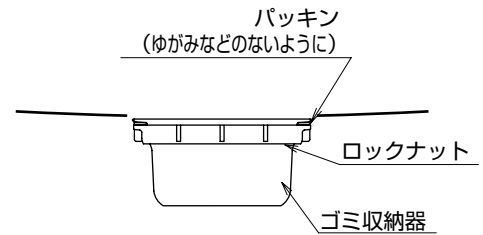
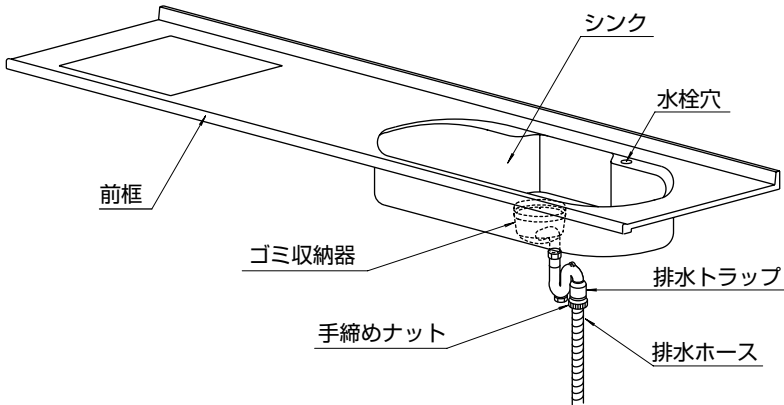


18 排水部材の取り付け

排水トラップの取り付け

■ ゴミ収納器の取り付け

シンクの内側にパッキンを入れ、ゴミ収納器を排水口に上から差し込み、シンク下側からロックナットで固く締めてください。(排水トラップが回らないようにしてください。)



警告



手締めナットは手で締めてください。パイプレンチなどは使わないでください。破損および施工不良による水漏れの原因になります。

■ 詳しくは排水セットに同梱の説明書を読み、確実に行ってください。

すべてのシンクに共通

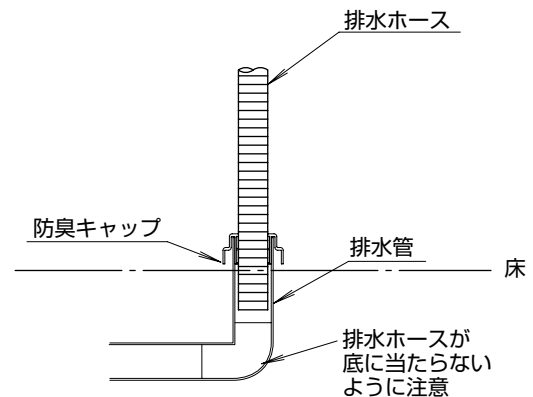
- ゴミカゴ、排水プレートをごみ収納器に載せてください。
- 最後に再度、各接続部を手でしっかり締め付け、水漏れがないか確認してください。

注意



排水ホースは折り曲げたりしないでください。詰まって排水の流れが悪くなり水漏れの原因となります。

管工事



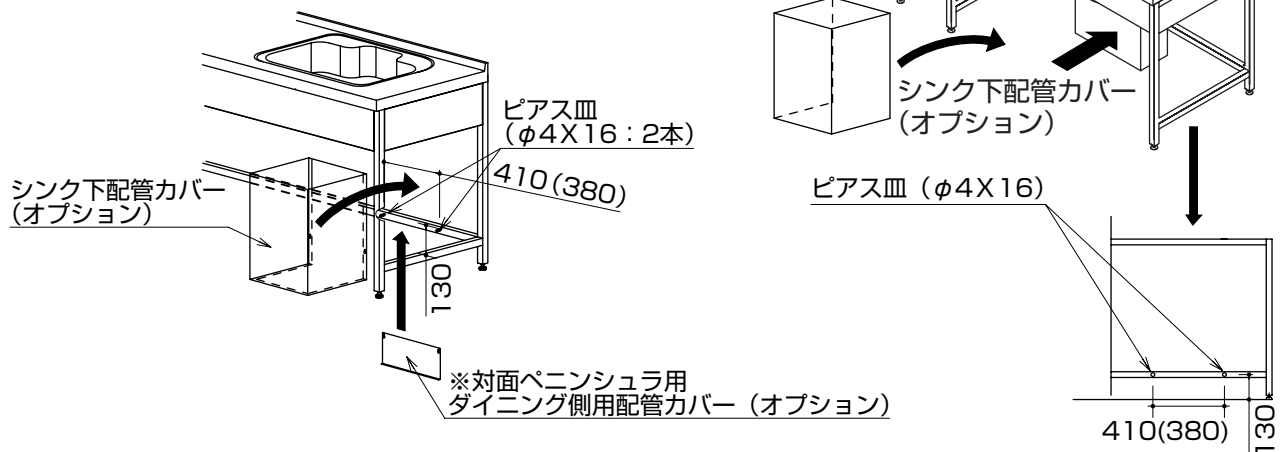
19 組み込み機器の取り付け

■ 組み込み機器の取り付けは、機器に同梱の施工説明書を読み確実に行ってください。

20 シンク下配管カバー（オプション）の設置

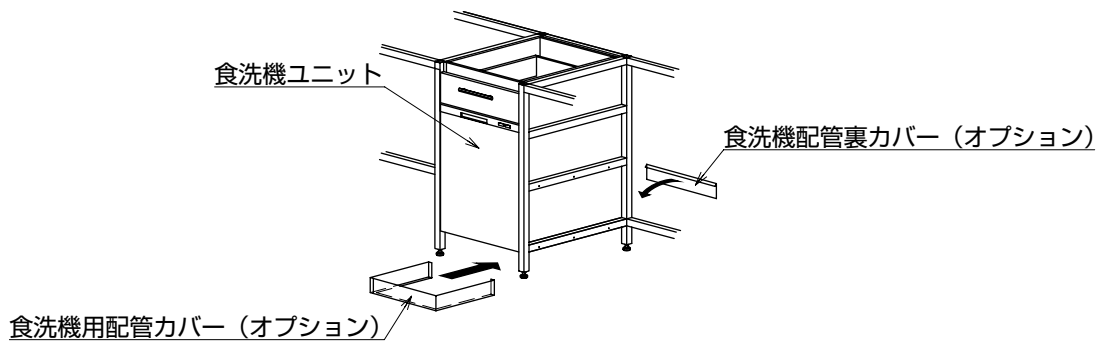
- シンク下配管位置にシンク下配管カバーを設置します。
- シンク下配管カバーのビス穴に合わせて、下継ぎパイプに取付ビス（ピラス皿 $\phi 4 \times 16$ ）止めし、シンク下配管カバーを引っ掛けます。

※ 対面の場合、シンク下配管カバーの前にダイニング側用を先に引っ掛け、次にシンク下配管カバーを重ねて引っ掛けてください。



21 食洗機下配管カバー（オプション）の設置

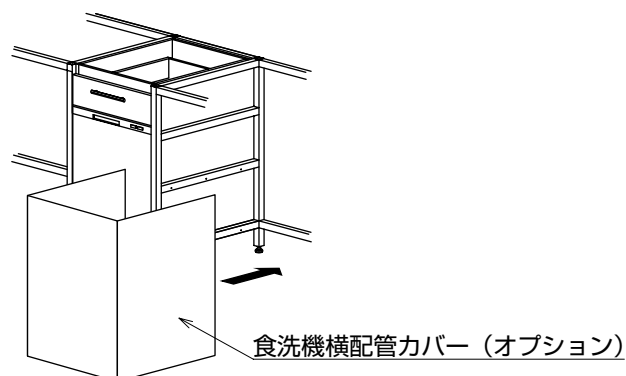
- 食洗機設置終了後、食洗機用配管カバーを正面から差し込み次に裏カバーを引っ掛けてください。



22 食洗機横配管カバー（オプション）の設置

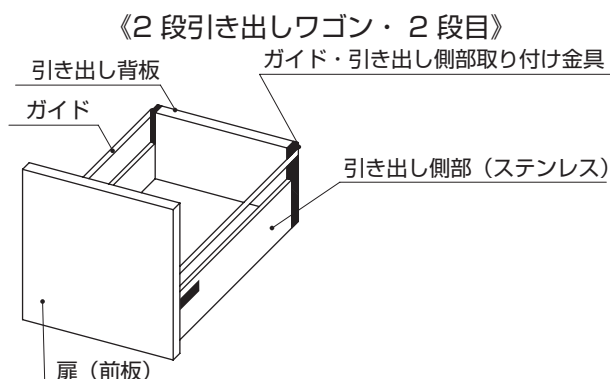
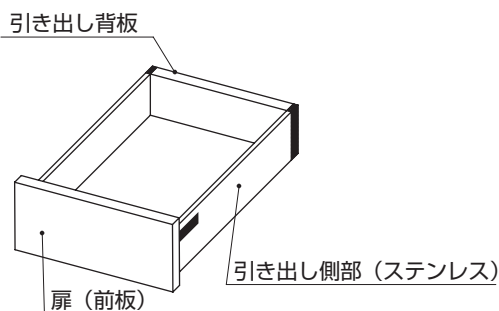
- シンク下に食洗機横配管カバーを設置します。
- 食洗機の給排水接続を覆うようにしてください。

※ 食洗機横配管カバーで配管を傷めないようにしてください。



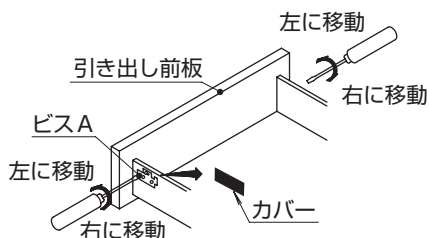
23 引き出しの調整

1) フルオープンレールタイプ



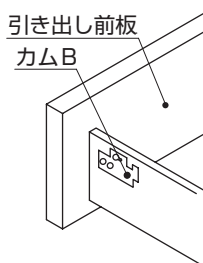
■ 左右調整

- ① カバーを外します。
- ② ビス A を回して、前板の左右位置を調整します。



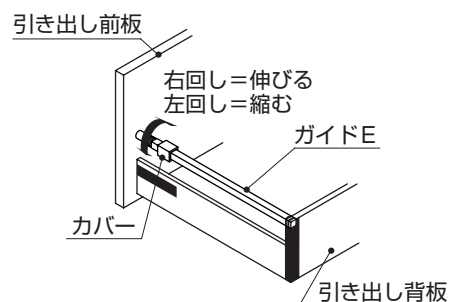
■ 上下調整

- ① カム B を回して前板の上下の位置を調整します。

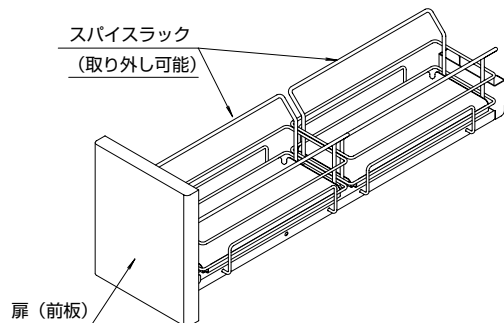


■ 前後調整 (ガイド付きのみ)

- ① ガイド E の根元を回して傾きを調整します。根元はカバーを奥にずらすと回せます。



2) モバイルラック

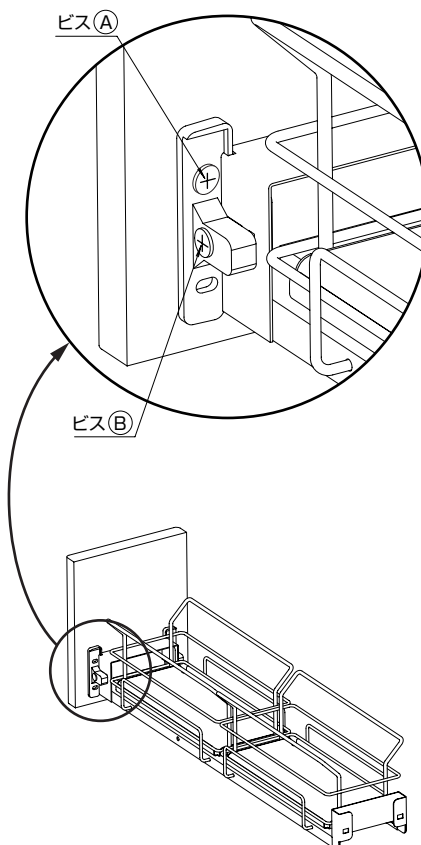


■ 左右調整 (± 1.5mm)

ビス A を緩めて、前板の左右位置を調整し、締めなおします。

■ 上下調整 (± 1.5mm)

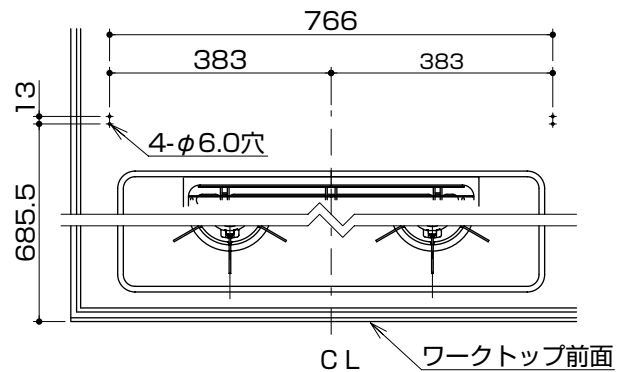
ビス B を緩めて、前板の上下位置を調整し、締めなおします。



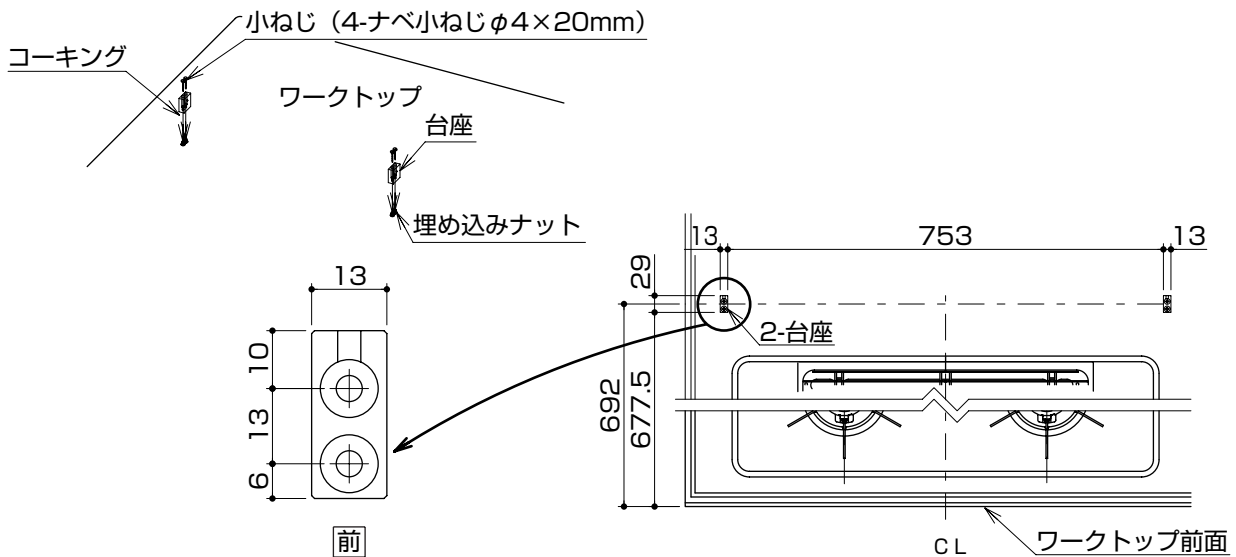
24 オイルガードパネルの取り付け

- ※ オイルガードパネル取り付け用下穴なしの場合 → 1.~ 4.の手順で取り付けてください。
- ※ オイルガードパネル取り付け用下穴ありの場合 → 2.~ 4.の手順で取り付けてください。

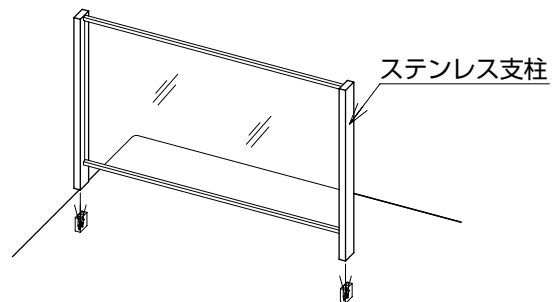
1. ワークトップに台座を取り付ける為の下穴 (φ 6.0mm) を開けます。
裏面より埋め込みナット(M4 × 12.5)を取付ける。



2. 台座をワークトップ上部にビスにて固定します。
注) 台座の前をワークトップ前面側に向けてください。
注) 貫通穴から水が漏れないよう、周囲をコーキング処理してください。

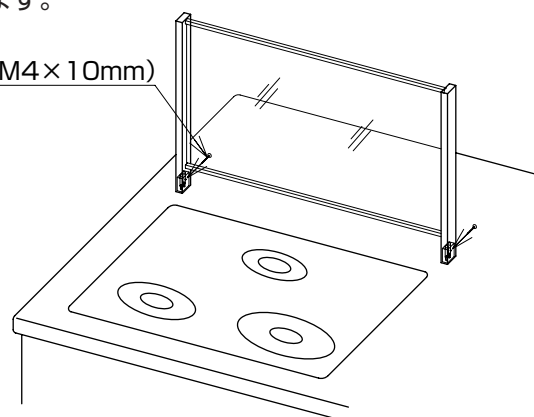


3. ステンレス支柱を台座に差し込みます。

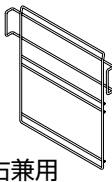



4. ステンレス支柱の後ろからねじにて台座に固定します。

ねじ (2-ローレットM4×10mm)

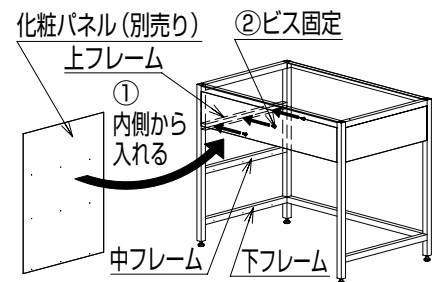


25 サイドハンガー (オプション) の取り付け

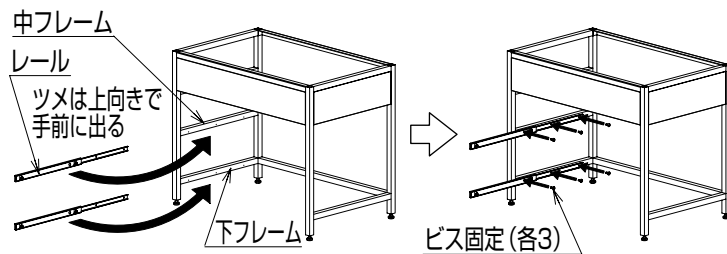
内容物 (数量)					
姿図	本体	レール		取付ビス	本説明書
	 左右兼用	右仕様 ツメ (上向き) カバー (黒)	左仕様 カバー (黒) ツメ (上向き)	 ピասPAN φ4×10mm	
右仕様 CKSP-SW-D65R	1	2	—	6	1
左仕様 CKSP-SW-D65L	1	—	2	6	1

お願い 化粧パネル (別売り) について

化粧パネル (別売り) を取り付ける場合は、レールよりも先に取り付けてください。
化粧パネル (別売り) をフレーム内側から入れて、上フレームへビス固定してください。
中フレームおよび下フレームへのビス固定は、レールと一緒にいきます。

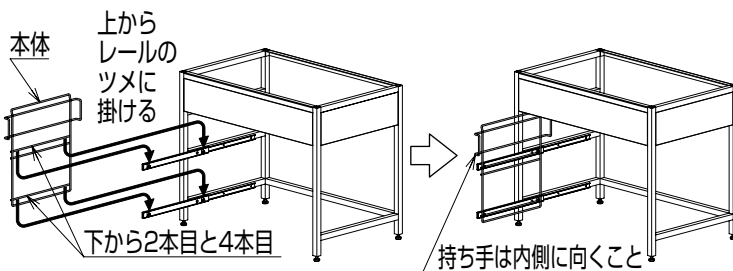


- ①レールの仕様とプランが、実際に合っているか確認してください。
- ②レールを中フレームおよび下フレームの取り付け穴に合わせ、取付ビスにて固定してください。

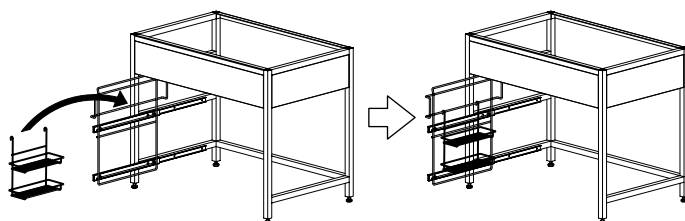


お願い 電動ドライバーのトルクが強すぎるとビス折れやねじ山つぶれとなりますので注意してください。

- ③本体をレールのツメに掛け、スムーズに出し入れ可能か確認してください。

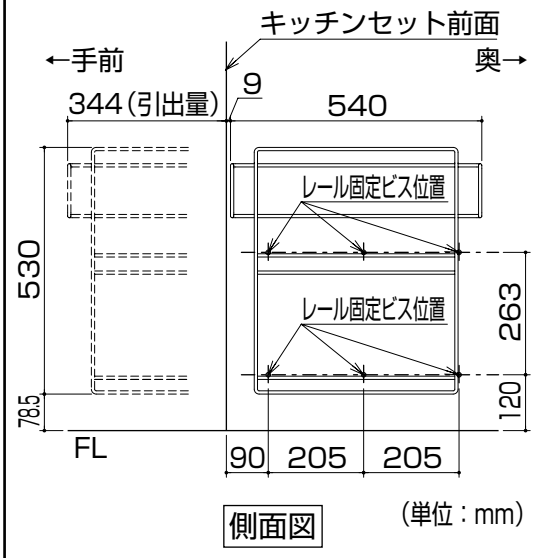


- ④別売りのアクセサリがある場合は、本体に掛けてください。



取付寸法について

キッチンワークトップ作業面高さ850mmの場合





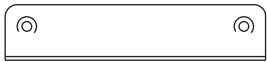
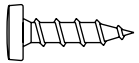
26 ワゴン (オプション) の組み立て

■ キャスター・手がかりの取り付け

⚠ 注意

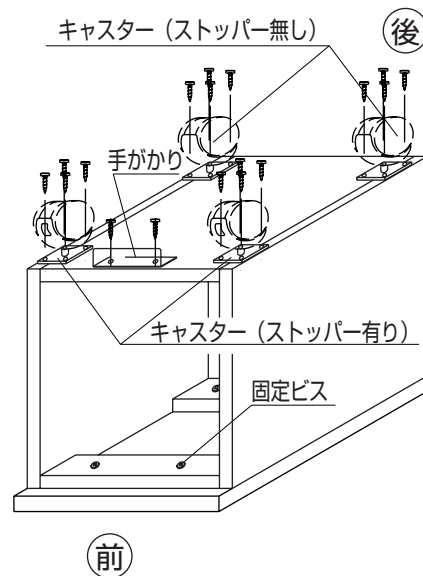


- 組み立てに際し、安全なスペースを確保し、段ボール等厚めの養生資材上で作業してください。
- 作業中は、ステンレスの養生シートは外さないでください。キズの原因となります。
- 開梱時には必ずキズの有無、部品の数量をご確認ください。
- 取付説明書と異なる取り付けは、事故や製品の破損につながる危険性があります。

		○キャスター (ストッパー有り) 2コ
ストッパー有り	無し	○キャスター (ストッパー無し) 2コ
		○手がかり 1コ
	φ 3.5 × 18	○取り付けビス 18コ

2) キャスターの取り付け

- 引き出しをすべて取り外します。
- 上面にキズがつかないようにキャビネットを裏返し、底面 4 隅の白い樹脂の打ちこみに対し、キャスターを付属のビスで取り付けます (右図参照)。
この時、ストッパー機構がある物を前、ストッパー機構がない物を後ろにつけてください。

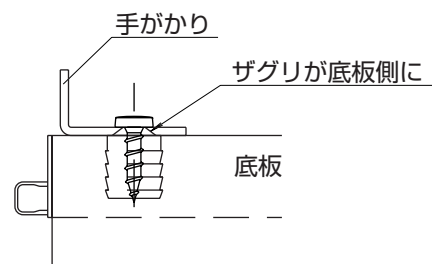


3) 手がかりの取り付け

- ボックス前端の樹脂打ちこみに対し養生シートを外した手がかりを取り付けます。
この時、手がかりのビス穴ザグリ面を底板側に向けて取り付けてください (下図参照)。
- ゆっくりとキャビネットを起こします。
この時キャスター部に過重がかからないようご注意ください。キャビネットを起こしたら、キャスターをロックさせます。

4) 引き出し前板の調整

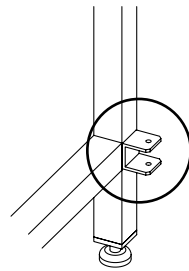
- 引き出しをすべて戻します。
3 段引き出しは、上・中段と下段の引き出し入れ間違いにご注意ください。
- 引き出し前板を調整してください。(41 ページ参照)
- ステンレス天板・側板ステンレス・前板の養生シートをはがします。
上面・側板の接合部がはがしにくい時は、固定ビスを一時緩め、はがした後、再度締め直してください。
養生をはがした後はキッチン下に収納し、キャスターはロックしておいてください。



27 カップボード（カウンター収納タイプ）の取り付け

1) ベースフレームの組み立て

■縦フレーム（両側／中央）を確認します。

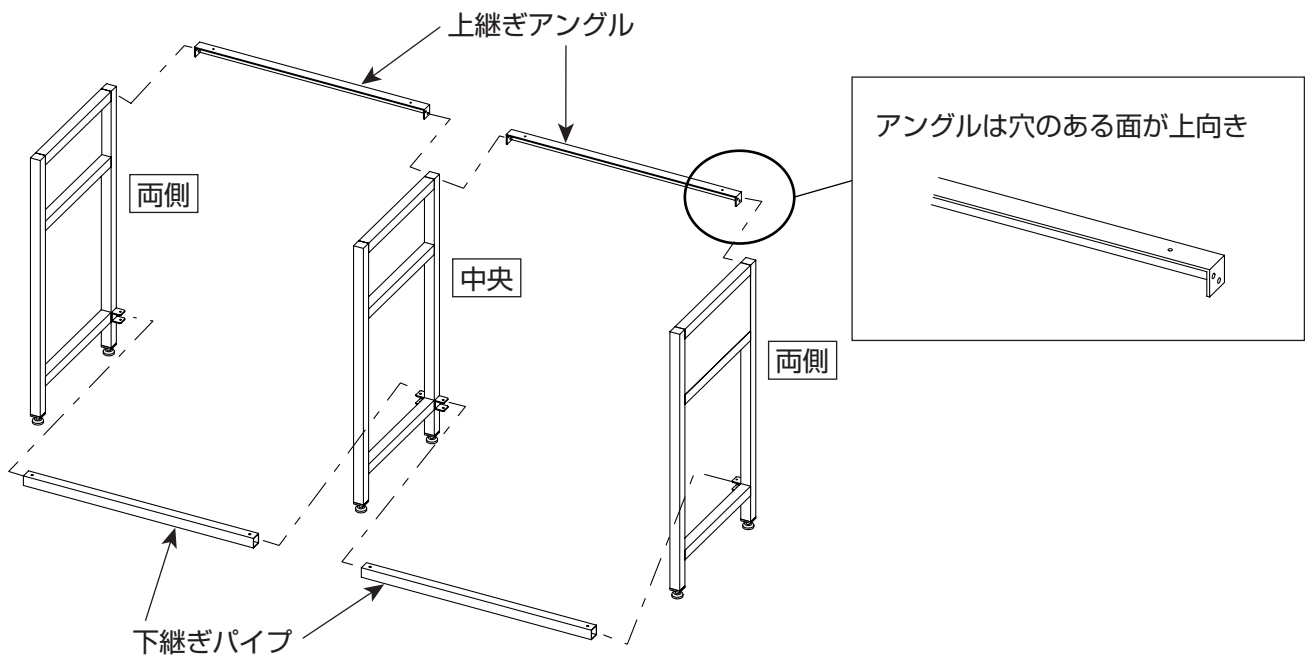


コ型の金具の数、位置を
チェックしてください。

両側：金具 1 コ
中央：金具 2 コ

あらかじめ、アジャスター底部とフレーム下棧の間を 110mm に調整しておいてください。（22 ページ参照）

■縦フレームと上継ぎアングル、下継ぎパイプ 16 カ所を六角キャップボルトで固定します。

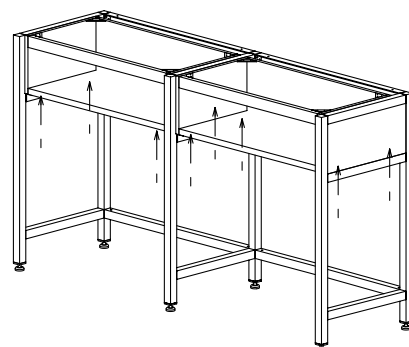
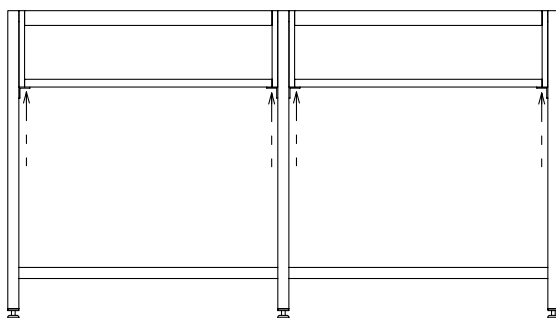


お願い 必ず最初に、継ぎパイプから取り付けてください。後からでは入りません。

2) 引き出しユニットの取り付け

■キッチン同様、フレームに引き出し受けアングルに取り付けます。

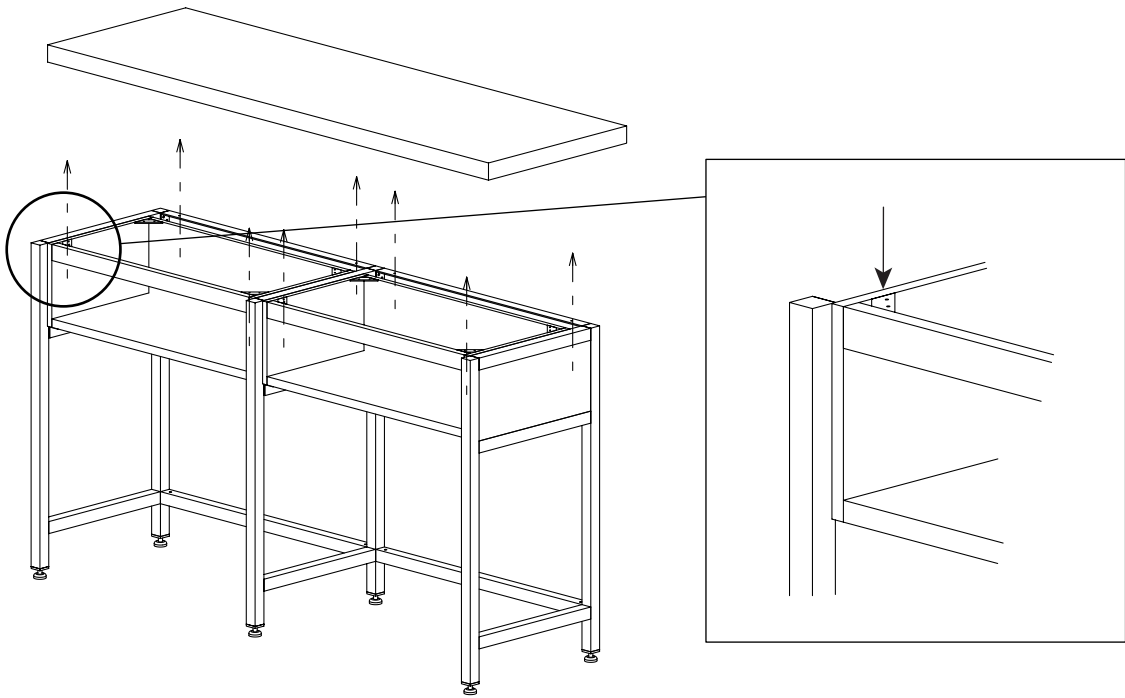
■引き出し受けアングルに引き出しユニットをのせ、下からステンナベ小ねじ（ $\phi 4 \times 10$ ）で固定します。
（引き出し 1 台あたり 4 カ所、計 8 カ所）



3) カウンターの取り付け

■カウンターを取り付けます。

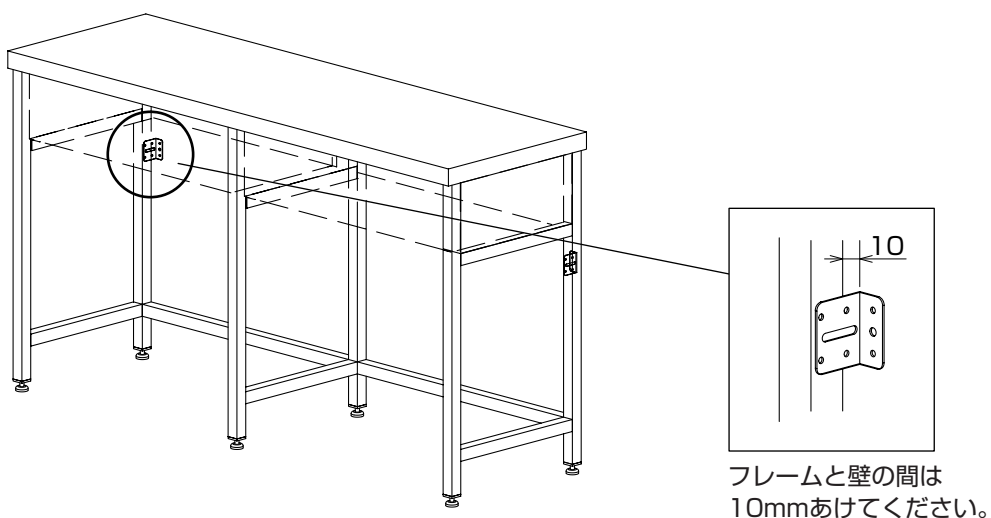
前は引き出し角の金具の穴を、後方は上継ぎアングルの穴を使い、トラスタッピングビス ($\phi 4 \times 12$) で固定します。



4) 壁面への固定

■壁面に固定します。

縦フレームの下穴に対しビス (ピラス PAN $\phi 4 \times 10$) でL 金具を取り付け、ビス (トラスタッピング $\phi 4 \times 50$) で壁面に固定します。(19 ページ参照)

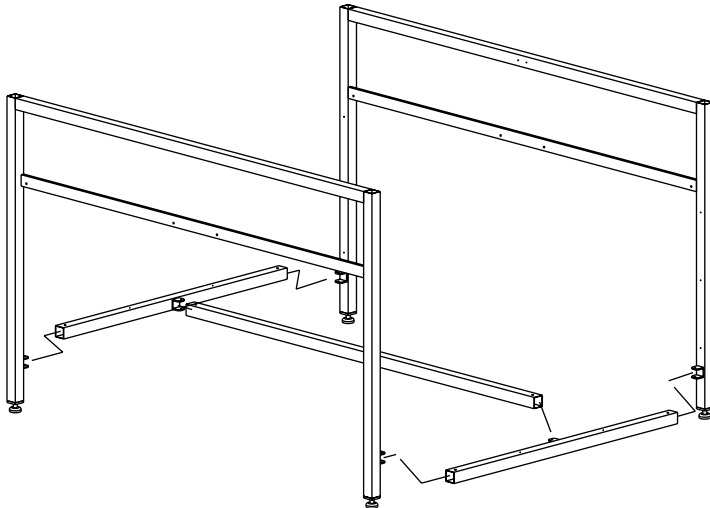


28 アイランドカウンターの取り付け

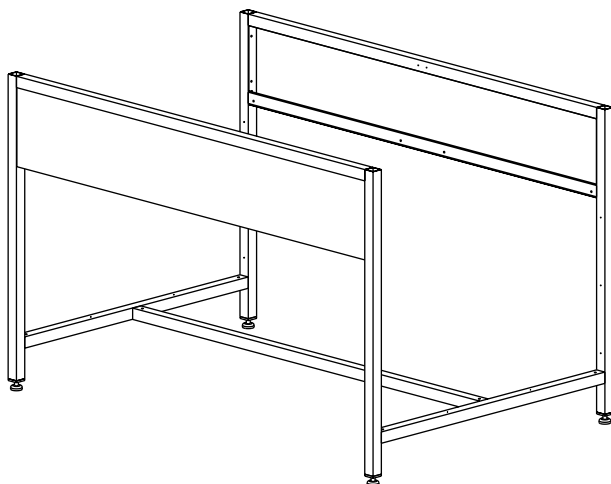
1) ベースフレームの組み立て

あらかじめ、アジャスター底部とフレーム下枠の間を 110mm に調整しておいてください。(H850 の場合)
(22 ページ参照)

■ フレームに下継ぎパイプを六角キャップボルトで固定します。

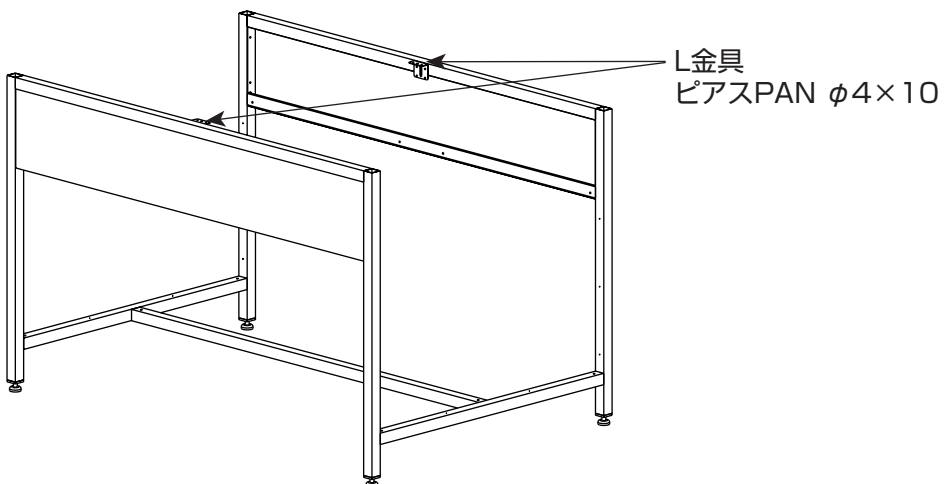


■ フレームに幕板を取り付けます。(ピアス PAN $\phi 4 \times 10$)



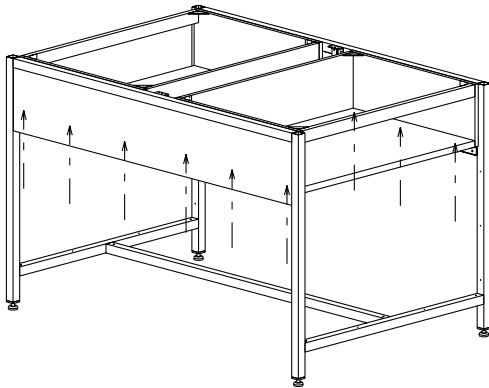
2) L金具の取り付け

■ L金具をフレームのビス穴に合わせて 2 カ所に取り付けます (ワークトップ固定用)



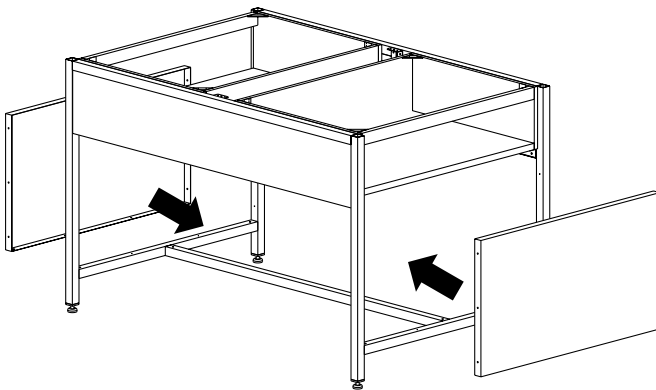
3) 引き出しユニットの取り付け (17 ページ参照)

- フレームに引き出し受けアングルを取り付けます。
- 引き出し受けアングルに引き出しユニットをのせ、下からトラス小ねじ (φ 4 × 10) で固定します。
(引き出し 1 台あたり 6 カ所、計 12 カ所)



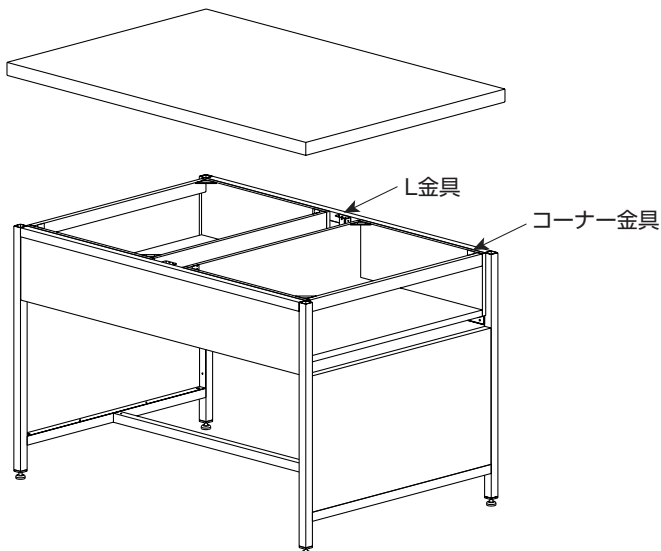
4) ステンレス化粧パネルの取り付け

- 引き出し下部分に化粧パネルをビス (ピース PAN φ 4 × 10) で内側からフレームの下穴に合わせてビス固定します。



5) カウンターの取り付け

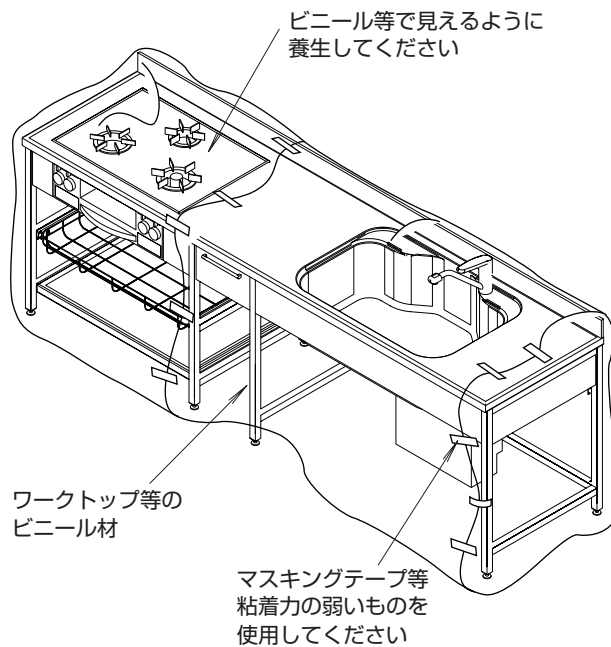
- カウンターを取り付けます。
 - ① 引き出し手前のコーナー金具の穴を使い、トラスタッピングビス (φ 4 × 12) で固定します。(46 ページ参照)
 - ② 手順 2) で取り付けした L 金具を使い、トラスタッピングビス (φ 4 × 12) で固定します。



6) 床面への固定・・・ 22 ページ手順 8) 床面への固定参照

29 清掃と養生

- 扉、ベースフレーム、引き出しユニット等の配置、ガタつき等再チェックしてください。
- 表面の汚れ、ホコリを拭き取り、キズ等がつかないように養生してください。
- 養生はワークトップ等の梱包材を利用してください。
- シンク、ガス機器等破損する恐れがある部分は、ビニール等で見えるよう養生してください。
- 養生に使うテープは粘着力の弱いマスキングテープ等を使用してください。



30 各部の点検

1) 水漏れの確認

- 取り付けが終わりましたら、ゴミ収納器、排水金具、排水ホースなどの接合部から水漏れがないか確認してください。

確認方法は、排水ホースをシンクより上にテープ止めし、水をシンク上面まで溜めて30分放置した後、水漏れがないか確認してください。水漏れがあった場合は、この部分を取り外して清掃した後に、もう一度部品を取り付け、水漏れがないか確認してください。

2) 取り付け部の確認

- ベースフレーム、ワークトップ、引き出しユニット等、ウォールキャビネットの取り付けがしっかりとしているか、もう一度確認してください。
また、内装工事などを行う場合は製品を必ず養生してください。

3) 点検表

点検箇所	チェック項目	判定
配置	レイアウト通りに配置したか	
	水平の確認はできているか	
ウォールキャビネット取り付け後	取り付け位置は墨出し位置と合っているか	
	底板面に段違い、面違いはないか	
	付属のビスを使用して、確実に取り付けられて落下の恐れはないか	
	側板上部に段違いはないか	
	前面に段違いはないか	
ベースフレーム部取り付け後	シリコンやパテなどが製品周辺に付着していないか	
	ワークトップとキャビネットは、付属のビスを使用して確実に取り付けられているか	
	六角キャップボルトは、すべて締められているか	
	ベースフレームにゆがみはないか	
ワークトップ取り付け後	排水部材は緩みなく取り付けられているか	
	シンクを満水にして水漏れがないか	
	水栓はグラつきなく取り付けられているか	
	防臭キャップが取り付けられているか	
	ゴミ収納器に注水し、トラップが機能しているか	
設備機器設置後	機器設置後の確認を説明書どおりに行ったか	
全体の外観	扉の調整は行ったか	
	扉や引き出しの開閉はガタつきなく調整できたか	
清掃	施工箇所の清掃は行ったか	
他	後工事〔タイル工事など〕のために充分養生したか	

※ チェックは上記段階で必ず実施してください。OK の場合は判定に○をつけてください。
 施主または工事監督者立会いのもとで行ってください。

